



COVER PHOTO
池袋西口公園と
東京芸術劇場



芸劇 BUZZ vol.30 2020年1・2・3月号
《編集・発行》公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 《編集・デザイン》COM Works 《印刷》株式会社秀堂

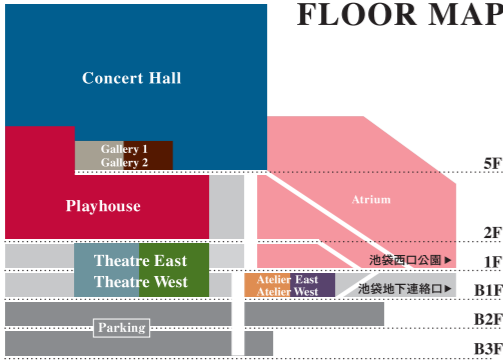
芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.30 2020
1.2.3.

東京 芸術 劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス
(チケット・総合案内カウンター)
| 予約 | **0570-010-296**
| お問合せ | (休館日を除く10:00～19:00)

5F 託児サービス
東京芸術劇場で公演ご鑑賞のお客様の
お子様をお預かりします。(要予約)
HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた
| お問合せ | **0120-415-306**
(平日9:00～17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場
| 利用料金 | 310円/30分
| 営業時間 | 7:00～24:00
| お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
| 開館時間 | 9:00～22:00 (休館日も除く)
| お問合せ | **03-5391-2111**
JR. 東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分、池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

《東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名》東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

アサヒグループホールディングス株式会社	JXTGホールディングス株式会社	西池袋熱供給株式会社	有限会社ユーシーベンディング商会
住友生命保険相互会社	株式会社資生堂	日本生命保険相互会社	養老乃瀧株式会社
Bloomberg L.P.	西武鉄道株式会社	日本電信電話株式会社	読売新聞東京本社
キッコーマン株式会社	ソニー銀行株式会社	びあ株式会社	立教大学
住友化学株式会社	第一生命保険株式会社	東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅	株式会社ルミネ 池袋店
.....	株式会社竹中工務店	株式会社フジテレビジョン	レンゴー株式会社
アサヒグループ食品株式会社	多摩美術大学	HOTEL URBAN(ホテルアーバン)	株式会社ローソンエンタテインメント
株式会社イープラス	株式会社帝国ホテル	ホテルメトロポリタン	株式会社WOWOW
ANAホールディングス株式会社	株式会社テレビ朝日	株式会社松尾楽器商会	渡邊建設株式会社
オルガノ株式会社	株式会社テレ・ポーズ	株式会社松村電機製作所	
香山壽夫建築研究所	デンカ株式会社	丸茂電機株式会社	
国際興業株式会社	東京地下鉄株式会社	三井金属商事株式会社	
株式会社サンシャインシティ	東京臨海熱供給株式会社	三菱地所株式会社	
三精テクノロジーズ株式会社	東武鉄道株式会社	三菱重工業株式会社	
サントリーホールディングス株式会社	株式会社東武百貨店	株式会社三菱UFJ銀行	
株式会社ジェイアール東日本ビルディング	凸版印刷三幸会	ミュージックスタジオ・フォルテ	
	トヨタ自動車株式会社	ヤマハサウンドシステム株式会社	

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。事業調整係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2116

令和2年1月1日発行

特集・PICKUP

アルトウーロ・トスカニーニ・ フィルハーモニー管弦楽団

シアターオペラvol.13
『ラ・トラヴィアータ』(椿姫)

ベートーヴェン生誕250周年記念
ミーツ・ベートーヴェン・シリーズ

芸劇ウインド・オーケストラ・
アカデミー 第6回演奏会

第9回 音楽大学フェスティバル・
オーケストラ ほか

翻訳・演出:谷賢一 出演:佐藤隆太
「エブリ・ブリリアント・シング」
～ありとあらゆるステキなこと～

作:野田秀樹 演出:野上絹代
「カノン」

音楽劇「星の王子さま」

芸劇dance
勅使川原三郎ダンス公演
「三つ折りの夜」ほか

東京芸術劇場
芸術監督 野田秀樹

CALENDAR

1月・2月・3月

バックステージツアーVol.12
「コンサートホール編」/
芸劇+まちがく ほか

東京芸術祭2019
フォトレビュー

東京芸術劇場 芸術監督 野田秀樹 対談 台中国国家歌劇院 芸術監督 チョウ・ユエン 邱瑗

東京芸術劇場 海外オーケストラシリーズ

アルトゥーロ・トスカニーニ・フィルハーモニー管弦楽団

インタビュー

ミハエル・バルケ

指揮者ミハエル・バルケに聞く、日本ツアーへの期待。

「日本の聴衆は私にとって唯一無二の存在。再会が楽しみです」

ミハエル・バルケ

©Kartal Karagedik

イタリアの文化都市パルマ。一般にはパルメザンチーズの産地程度の知名度にとどまるが、音楽界では20世紀の大指揮者アルトゥーロ・トスカニーニの出身地として知られる。テアトロ・レージョと呼ばれるパルマの王立劇場はイタリア有数のオペラハウス。アルトゥーロ・トスカニーニ・フィルハーモニー管弦楽団は、トスカニーニ財団直営のオーケストラでテアトロ・レージョやヴェルディ・フェスティバルでのオペラ演奏、交響楽の定期演奏会の両面で幅広く活動し、明るく伸びやかな響きに独特の個性がある。日本には最初がジョルジョ・ベルナスコーニ、2度目がロリン・マゼールの指揮で訪れているが、13年ぶりの来日となる2020年は、全国共同制作オペラなどで日本でもお馴染みのドイツ人指揮者ミハエル・バルケとの初共演に期待が高まる。

イタリアにはよく客演されるのですか？

「はい。ヴェローナやミラノ、パレルモ、サルディーニャなどで定期的に客演指揮をしています。私のイタリア・デビューは2011年、プレシアのテアトロ・グランデでした」

マゲデブルク歌劇場の音楽総監督時代、ドニゼッティやヴェルディを多く指揮されていますが、マエストロのイタリアオペラへの愛情はどこから来るのですか？

「私にとってイタリアオペラは、歌劇指揮の核、あるいは種子として存在しています。フランス、ドイツ、とりわけワーグナーなどの作曲家たちは、イタリアの大作作曲家の影響下にあります。ベルカントのメロディーラインをはじめとする美意識や手法は、すべての作曲家にとっての手本でしょう。それゆえに私も過去6年間イタリアに居を構えていて、オペラへの愛は強まる一方です」

目下のところのツアープログラムは“半々”、つまり前半が歌手との歌曲、後半がブラームスの交響曲第1番です。どのような理由から、こうされたのですか？

「私たちはひとりのドイツ人指揮者と、オペラとシンフォニーを車の両輪と

4月30日(木) 19:00開演 コンサートホール

指揮：ミハエル・バルケ ソプラノ：アレックス・ベンダ テノール：カメン・チャネフ

管弦楽：アルトゥーロ・トスカニーニ・フィルハーモニー管弦楽団

曲目：ヴェルディ／歌劇『運命の力』序曲

ヴェルディ／歌劇『マクベス』から“勝利の日に～来たれ、急いで”(マクベス夫人のアリア)

ヴェルディ／歌劇『イル・トロヴァトーレ』から“見よ、恐ろしい炎を”(マンリコのカヴァレッタ)

プッチーニ／歌劇『トスカ』から“歌に生き、恋に生き”(トスカのアリア)、“星は光りぬ”(カヴァラドッシのアリア)

ヴェルディ／歌劇『仮面舞踏会』から“私は君の傍らに…”(愛の二重唱)

ブラームス／交響曲第1番 八短調

詳細はHPへ

アレックス・ベンダ

カメン・チャネフ

して地元根を下ろすイタリアのオーケストラの組み合わせで日本へ向かいます。そこで主催の東京芸術劇場とも相談の上、東京のお客様に“普通ではない”プログラムをお届けすることになりました。とはいえ音楽の歴史をひもとけば、一つの演奏会のプログラムにオペラ・アリアと交響曲を並べるのが、“普通ではない”などということは全くありません」

歌手の皆さんのご紹介をお願いします。

「2人とも、私としばしば共演する歌手です。アレックス・ベンダとは『トスカ』『ドン・カルロ』を手がけ、近々、レコーディングを含む『サロメ』のツアーにも出かけます。カメン・チャネフとは『トロヴァトーレ』『トスカ』『ドン・カルロ』を一緒にしました。2人とも舞台における完璧な歌役者であり、際立った存在感、テキストへの深い理解、ずば抜けて高い音楽能力の持ち主です」

日本へは2015年からほぼ定期的にいらしていますが、あなたにとって日本とは、どのような国ですか？

「私は日本を愛しています。国土、人々、文化、そして食事！初来日以来、私は一貫してポジティブな印象しか持ち得ていません。私は友人たちに常々『もし“おもてなしの心”というものを習いたいなら、日本へ出かけなければならない』と言い聞かせています」

日本のホールとその聴衆をどう評価されますか？

「今までに日本で演奏したホールはどこも本当に素晴らしい！とりわけ東京、大阪、金沢のホールはファンタスティックです。温かな響きと分析的な透明度との傑出したバランスを伴う、驚くべき音響です。中でも東京芸術劇場コンサートホールは、私のお気に入りといえます。ホールで指揮をしているときの温かな響きが、私の好みなのです。そして日本の聴衆は唯一無二の存在——私はいつも大きな関心と尊敬を寄せています」

取材・文：池田卓夫（音楽ジャーナリスト@いけたく 本舗®）

東京芸術劇場シアターオペラvol.13 全国共同制作オペラ

ヴェルディ/歌劇『ラ・トラヴィアータ』(椿姫)

全幕(日本語字幕付原語上演)

イタリアの世界的ソプラノ エヴァ・メイが歌う

「不思議だわ、これが夢に見た恋なのかしら」ヴィオレッタは1幕の最後のアリアを歌い出す。恋の予感に胸ときめかせながらも、娼婦という自分を見据え、「パリという砂漠の中で、見捨てられた哀れな女」である現実を直視する。「椿姫」のヒロイン、ヴィオレッタは、虚飾の中に潜む暗い陰を、華やかなアリアに込めなければいけない。それゆえヴィオレッタの複雑な心情を巧みに歌い上げるソプラノは、そう多くはない。キャリアを積み上げ、表現を磨き、鍛錬した声でのみ歌うことの出来る難役なのだ。そのヴィオレッタを歌える数少ないソプラノが、イタリア生まれのプリマ・ドンナ、エヴァ・メイだ。モーツァルトの諸役でスタートし、ロッシーニやドニゼッティなどベルカントのレパートリーで、コロラトゥーラ歌手としてキャリアを築いた。いまは声の成熟にともない、レパートリーを広げ、ヴェルディの『リゴレット』ジルダや『ファルスタッフ』のアリーチェなど正統派リリコのレパートリーで大活躍が続けている。エヴァ・メイの声はクリアーで澄んでいて、高音がよく伸びる。さらに表現が繊細で、表情も豊かだ。ヴィ

ベートーヴェン生誕250周年記念 ミーツ・ベートーヴェン・シリーズ

『ミーツ・ベートーヴェン・シリーズ』への期待

2020年12月に生誕250年を迎える楽聖ベートーヴェンのピアノ音楽に焦点を充てた「ミーツ・ベートーヴェン・シリーズ」がフォルテピアノとモダンピアノを弾き分ける仲道郁代のリサイタルでスタートする。ピアノ音楽の歴史を見るとときハイドン、モーツァルト時代とショパン、シューマン、リスト時代では隔世の感があるように思う。しかし、この両時代に立ち位置をもち、いわゆる古典派様式とロマン派様式の不可避不可欠な橋渡しをしているのがベートーヴェンなのである。鍵盤楽器としてはチェンバロが主流であった時代のハイドンやモーツァルトが作曲した音楽と、初期から新しい時代の楽器フォルテピアノの強弱法を駆使し、旋律の流麗さよりもむしろ重厚で豊かな響きの和声とリズム変化を重視したベートーヴェンの音楽との間に早くも古典主義からロマン主義への移行が見られるのだ。

音の組み合わせや構成、そして明晰な主題の展開と形式的バランスに美の本質を見出していた18世紀音楽に対し、ベートーヴェンの作品では一音



オレッタは1幕ではコロラトゥーラの妙技を披露しなければいけないし、2幕ではアルフレードを愛する切々とした叙情的な表現が求められる。3幕では死に瀕したドラマチックな表現も必要だ。エヴァ・メイはこの3つの要素を全て身に付けており、ヴィオレッタ役で絶賛されてきた。いまソプラノとして円熟期に入ったエヴァ・メイの、毅然とした大人のヴィオレッタが聴けるに違いない。

文：石戸谷結子（オペラ評論）

2月22日(土) 14:00開演

コンサートホール

指揮：ヘンリク・シェーファー

演出・振付：矢内原美邦

管弦楽：読売日本交響楽団

合唱：新国立劇場合唱団

ヴィオレッタ：エヴァ・メイ ほか

詳細はP12へ

白河、金沢公演あり



一音、音そのものに意味が与えられ、綿密な論理によって、ある種メッセージが表現されるのである。それは音によるドラマと言っても過言ではない。しかし、そのメッセージが如何なるものなのか、どのような意味を持つかの解釈が一筋縄ではゆかないのだ。逆に言えば、解釈の可能性は無限に開かれている。だからベートーヴェンは面白いのだ。作品に一家言をもつ若手のピアニスト清塚信也、そしてふたりのジャズ・ピアニスト、女流の山中千尋と巨匠の山下洋輔、最後に登場するのがベートーヴェン音楽と対峙し続けてきた清水和音だ。どのベートーヴェンも聴き逃さない。

文：平野昭（音楽評論）

Vol.1 1月10日(金) 仲道郁代

Vol.2 5月22日(金) 清塚信也

Vol.3 7月10日(金) 山中千尋

詳細はP9へ

Vol.4 10月16日(金) 山下洋輔

Vol.5 12月15日(火) 清水和音

詳細はHPへ

芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー 第6回演奏会

若手プレイヤーたちの フレッシュな吹奏楽サウンド

東京芸術劇場が2014年から行なっている育成事業、芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミーの第6回定期演奏会が2020年2月29日(土)に開催される。芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミーに所属する前途有望な若手プレイヤー17人が、国内屈指のプロ吹奏楽団である東京佼成ウインドオーケストラとともにフレッシュな吹奏楽サウンドを会場に響かせる。

指揮はこれまで井上道義、秋山和慶、鈴木優人といった日本を代表するマエストロたちが担当してきた。今回は東京佼成ウインドオーケストラの正指揮者で、吹奏楽シーンを力強く牽引する大井剛史がタクトを振る。

曲は“吹奏楽の神様”とも呼ばれるアルフレッド・リードの「パッサカリヤ」をはじめ、久石譲「Single Track Music 1」、クルト・ヴァイル「小さな三文音楽」、デイヴィッド・マスランカ「交響曲第4番」を取り上げる。

選曲の意図やコンサートの聴きどころを大井剛史が語ってくれた。
「吹奏楽の世界で生きていく上では避けて通れないリードの作品、生誕120



©Hikaru.77

年を記念して東京芸術劇場から提案があったヴァイル作品、若手奏者とともに作り上げるにふさわしいマスランカの大作、そして久石譲の作品をチョイスしました。お客様にとっては、なかなか生演奏で聴くことのできない作品に触れる絶好のチャンスです。久石譲作品は、ジブリの音楽のイメージを持たれている方には新鮮に響くでしょう。ぜひご来場ください」

新進気鋭の若手プレイヤーが東京佼成ウインドオーケストラ＆マエストロ大井剛史とコラボレーションして生み出す熱演、お聴き逃しなく！

文：オザワ部長（吹奏楽作家）

2月29日(土) 15:00開演 詳細はP12へ
コンサートホール
指揮：大井剛史
吹奏楽：芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー
東京佼成ウインドオーケストラ



©K.Mura

東京芸術劇場&ミュザ川崎シンフォニーホール共同企画 第9回 音楽大学フェスティバル・ オーケストラ

ミッキーが、 若い心に火をつける

音楽大学の学生たちの演奏は「音楽する喜びが感じられる」と好評だ。技術水準も非常に高く、情熱的な演奏は感動を呼び。各大学の校風が演奏に表れ、その違いが味わえて楽しい「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」は、首都圏にある9つの音楽大学のオーケストラが、それぞれの演奏を聴かせてくれる企画。その特別編として、各大学の選抜メンバーで構成されるのが、この「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」だ。2016年から地方の音楽大学も加わっているが、今回は「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル」から、京都市立芸術大学の学生たちが参加する。

このオーケストラを指揮するのは、愛称「ミッキー」こと井上道義。ストレートな物言いと明解な音楽作りで、学生たちから熱気を引き出してくれるはず。

今回のプログラムは「踊り」がテーマのようだ。ヨーゼフ・シュトラウスのワルツ「天体の音楽」は、祝祭で初演されて大成功を収めた、彼の代表作。優雅なワルツの次は雰囲気が一変。中の一節が緊急地震速報の告知音に使われ

ていることでも知られる伊福部昭「シンフォニア・タブカーラ」だ。この「タブカーラ」は「立って踊る」という意味のアイヌ語。そしてストラヴィンスキー『春の祭典』はバレエのために作られた作品。「タブカーラ」、「春の祭典」とともに人類が持っていた原始的なエネルギーを感じさせる作品で、演奏も難しい。それだけに、学生たちの意欲も聴けるに違いない。

文：堀江昭朗（音楽ライター）

3月28日(土) 15:00開演 ミュザ川崎シンフォニーホール
3月29日(日) 15:00開演 コンサートホール 詳細はP14へ
指揮：井上道義 管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ

[参加音楽大学] 上野学園大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学、東京藝術大学、東邦音楽大学、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学、京都市立芸術大学



©青柳 聡

フィルハーモニア管弦楽団 VRサウンド・ステージTokyo

無 料

1月11日(土)～29日(水) アトリエウエスト、ロワー広場

詳細はHPへ



フィルハーモニア管弦楽団を最新のVRで体験しよう

エサ=ベッカ・サロネン率いる英国の名門、フィルハーモニア管弦楽団。1月に3夜に渡り開催される大型来日公演に合わせ、この楽団の教育プログラムとして開発された“ヴァーチャル・オーケストラ”がついに東京芸術劇場にやってくる。オーケストラを、全方位360°カメラと最高音質で収録した映像を、VRのヘッドセットで視聴できる画期的な企画だ。普段のコンサートとは違い、さまざまな角度からの臨場感あふれるサラウンドで、あたかもオーケストラの一員になったような没入感を味わえる。最新VRによる最高峰の未知なる音楽体験へようこそ！

VR体験プログラム：マーラー／交響曲第3番

0才から聴こう!!&4才から聴こう!! 春休みオーケストラコンサート

3月31日(火) ①11:30開演(0才から入場可)／②13:30開演(4才から入場可) コンサートホール

詳細はP14へ



©Hikaru.77

赤ちゃんから大人まで、家族みんなで楽しめるオーケストラ！

東京芸術劇場と読売日本交響楽団が毎年春に開催している、クラシック音楽デビューのお子様に最適な約50分間のコンサート。今年は指揮に第18回東京国際コンクール指揮部門、第56回ブザンソン国際若手指揮者コンクール優勝者の沖澤のどか、ナビゲーターにNHK「おかあさんといっしょ」の第11代体操のお兄さんの小林よしひさを迎え、メンデルスゾーンの『真夏の夜の夢』から「結婚行進曲」など、明るく華やかで、聴きなじみのある名曲の数々を演奏する。0才からの午前の回と、4才からの午後の回では曲目も少し異なり、年齢に合わせた楽しみ方ができるのもこのコンサートの特徴。家族みんなで読響の上質な演奏を味わえる絶好の機会、どうぞお楽しみに！

指揮：沖澤のどか 管弦楽：読売日本交響楽団 サクソフォン：金野龍篤 ナビゲーター：小林よしひさ

読売日本交響楽団 土曜・日曜マチネーシリーズ

4月25日(土)～2021年3月14日(日)[全20回(土曜10回、日曜10回)] 各回14:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ



©鈴木 優人

©読売

©Andrea Monachello

©Attila Kleb

週末の午後、極上の音楽を聴く人気シリーズ

チケットの完売が相次ぐ土曜と日曜の午後2時に開催している大人気シリーズ。2020年度も、常任指揮者ヴァイグレや、20年4月に指揮者／クリエイティブ・パートナーに就任する鈴木優人、ピアノの反田恭平、パタシヴィリなど豪華指揮者・ソリストが次々に共演する。お得な年間会員券は好評発売中。

4月は「炎のマエストロ」小林研一郎が振る「英雄」で開幕。5月に第55回ブザンソン国際若手指揮者コンクール覇者のグラスバークが、「ボレロ」で会場を熱狂へと誘う。桂冠指揮者カンブルランは6月に登場し、二つのバレエ音楽で色彩豊かな響きを生むだろう。

【お問合せ】読響チケットセンター 0570-00-4390 <https://yomikyo.or.jp/>

芸劇ランチコンサート

清水和音の名曲ラウンジ 4月22日(水)11:00開演／名曲リサイタル・サロン 5月27日(水)11:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ



©鈴木 泰尚

©Mana Miki

©ヒダキトモコ

©堀正文

©石田泰尚

清水和音の名曲ラウンジ 第24回 ～5周年記念～「ヴァイオリン・ソロ名曲集」
4月22日(水)11:00開演 出演：徳永二男、堀正文、松田理奈、大江馨、周防亮介(Vn) 清水和音(Pf)
【お問合せ】サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

名曲リサイタル・サロン 第7回
5月27日(水)11:00開演 出演：石田泰尚(Vn)、中島剛(Pf)

「エブリ・ブリリアント・シング」

～ありとあらゆるステキなこと～
作:ダンカン・マクミラン ジョニー・ドナヒュー
翻訳・演出:谷賢一 出演:佐藤隆太

インタビュー 佐藤隆太・谷賢一

“こんな奇跡が起こせるんだ!” という芝居に

“ブリリアント・シング”を1000番まで集めたら――。

佐藤隆太主演、谷賢一翻訳・演出の

一人芝居が日本初演。

二人に、作品への想いを聞いた。

野田秀樹や故蜷川幸雄など、名だたる演出家たちの舞台で重要な役どころを演じ、その幅広い演技力で観客を魅了してきた佐藤隆太。デビュー20周年を迎えた彼が今回挑むのは、ダンカン・マクミラン、ジョニー・ドナヒュー作、谷賢一翻訳・演出による一人芝居「エブリ・ブリリアント・シング」だ。2013年にイギリスで初演、翌年にはエジンバラ国際演劇祭で再演され、以降世界各地で上演されている本作は、“ありとあらゆるステキなこと・もの”を探し続けている、ある男の物語。今年の初秋、本作のユタ公演を観た佐藤と谷は、その印象を興奮気味に語った。

佐藤 自分が演じるということを一旦忘れて、観客として純粋にこの作品を楽しめたことがとてもうれしかったです。劇中ではお客さんいろいろな役割を担うんですけど、だからこそみんなで作り上げた、走り抜けたという感動があった。他の作品ではなかなか味わえない空気なんじゃないかなと思いますね。

谷 台本も発想も素晴らしいし、日本のお客さんは今、こういう作品を求めているんじゃないでしょうか。劇場にただ行っただけじゃなくて、ちょっと参加してみたいという人は一定数いますし、やっぱり演劇を観る醍醐味って、その日だけのものが観られること。その点、この作品ほど“今日だけのもの”が観られる舞台って、そうないですから。

想像できなさすぎて、ワクワク

本作が人気を博す理由のひとつに、演者と観客の距離が近い、トークライブスタイルが挙げられる。観客はあらかじめ渡されたカードに則って、ある単語を読み上げたり、役を演じたりしながら、演者と一緒に作品を作り上げる。

谷 いわゆる観客参加型演劇に抵抗がある人って結構多いと思うんです。でもこの作品は一般的な観客参加型演劇とは全く違う形式で、手法が非常にオシャレ、洗練されている。お客さんも抵抗なく入ってこられる、すごいポテンシャルを秘めた作品だと思います。

佐藤 日本で読む印象より、実際の上演では楽しい瞬間がすごく多いんです。僕も、お客さんが1時間をあっという間に感じるような、いろいろな表情やテンポ感で芝居を進めたいと思っています。

何しろ今回、舞台に立つのは佐藤一人。初めての一人芝居に、佐藤はどのような想いを抱いているのか。



佐藤 あまりの想像のつかなさ、むしろワクワクしています(笑)。もちろん怖さはあるんですけど、それ以上に「どうなるんだろう」という気持ち強いですね。それに、「こりや大変だぞ……」という予感がする作品って、今までの経験上、自分にとって大きな意味を持つ作品になることが多いんですよね。こんなスタイルの作品のオファーをいただけることもこの先ないと思いましたし、1枠しかないキャストボードに僕の名前を挙げていただいたなら、ぜひ飛び込んでみたいなって。そんな佐藤の様子に、谷は厚い信頼を寄せる。

谷 隆太さんは普段お話している時でも心を開いて話してくれる。そういう人柄が、劇中でお客さんとやりとりする時にも良い効果を生むんじゃないかなと。隆太さんならお客さんと素晴らしい空気を作ってくれと予感しています。稽古ではまず谷と佐藤の2人で“作戦会議”し、その後、徐々に“観客役”を招き入れて、実戦に近い形で進めていく予定だ。

谷 舞台美術をシンプルにしたいなと思っていて。それこそスーツケースひとつ持っていけばどこでも上演できるくらいミニマムなものになると思います。「こんなに何もなくて、こんな奇跡を起こすことができるんだ!」ということを感じてもらえたら。

佐藤 観劇後、ユタでのホテルへの帰り道で、谷さんが「僕は日本での公演がいなものになるんじゃないかなって思いますよ、」と言ってくださって、本当に心強いなと。谷さんと一緒に、僕たちなりのいいお芝居が作りたいと思っています。本番に向けて、2人のタッグはより強く、確かなものになっていく。

取材・文:熊井玲(ステージナタリー)

1月25日(土)～2月5日(水) シアターイースト
作:ダンカン・マクミラン ジョニー・ドナヒュー
翻訳・演出:谷賢一
出演:佐藤隆太



佐藤隆太



谷賢一

新潟、松本、名古屋、大阪茨木、高知公演あり 特設サイト ebt-stage.com

「カノン」

作:野田秀樹 演出:野上絹代

インタビュー 野上絹代

効率が重視される今、 “無駄”にキボウを抱くために

思想と理想を掲げ、限らない夜の闇に潜む「自由」を求めて疾走する若者の
焦燥と躍動。4年の時を経て、『カノン』がシアターイーストに帰ってくる。

東京芸術劇場は、芸術監督を務める野田秀樹の戯曲を国内外の演出家によって上演するシリーズ企画に取り組んできた。第5弾の演出家として白羽の矢が立ったのは、演劇カンパニー「快快」に所属する野上絹代である。

きっかけとなったのは、2015年の演劇系大学共同制作企画で、野上が野田秀樹の『カノン』を演出したこと。数ある戯曲の中から『カノン』を選んだ理由について、彼女はこう振り返る。

「そのときは出演者もスタッフもほぼ大学生だったので、大学生が自分たちで考えることができて、大学生が演じて違和感がない戯曲がいいなと思ったんです。『カノン』は1972年のあさま山荘事件がモチーフになっていて、あの事件は大学生くらいの若者が引き起こしたものだから、そのことを大学生たちと一緒に考えて上演できたらなと思って選びました」

あさま山荘事件について、野上は以前から興味を抱いていたという。鉄球が山荘を直撃する映像には見覚えがあったけれど、その事件について歴史の授業で習うことはなかった。

「上演に向けてあらためて調べてみると、すごく人間的な話だと思ったんですよ」と野上は振り返る。「思想として理想的なことを掲げるときに、人間的な部分を見失っちゃって、そこから歪みが生じてあんな大事件になっちゃったのかなと思ったんですよ。だから、自分たちの弱さやずるさ、くだらなさを傷としてちゃんと持っておかないと、大変なことになるんだな、と」

あさま山荘事件について調べ、戯曲を読み込んで、2015年に野上演出の『カノン』が上演された。それを観た野田秀樹が「牙を渡った演出に吃驚し、再演をすれば、更に磨きがかかるのではないかなと思った」と言葉を残したことで、2020年の春、野上演出で再度上演されることになったのだ。「“無駄”に“キボウ”を抱いてくれる俳優」というフレーズのもとに出演者を募ると、1200通を超す応募があり、オーディションが行われることになった。

「今はすごく効率が重視される時代で、これから先はどんどん人の手が要ら

なくなると思うんです。でも、演劇は人がいないと成り立たないものだし、人間が持っている一番の魅力は無駄なエネルギーみたいなところにあるんじゃないかな、と。効率とは逆の方向にあるものを、未来に希望として残していくことを目的としてくれる人と一緒にやりたいなと思ったんです」

今の時代を、野上は「分断の時代」と評する。そして、分断を克服しうるのはユーモアである、と。

「同じところで笑っちゃったときって、繋がりをを感じるじゃないですか。喧嘩してても、テレビの同じ場面で笑っちゃって、空気がほぐれることってありますよね。ユーモアって、分断の壁に風穴を開けられるような気がしますね」

野田秀樹の戯曲は言葉遊びに溢れ、イメージが乱反射する。その縦横無尽に広がる世界は「ただただ圧巻ですよ」と野上は語る。

ポイントとなるのは、あさま山荘事件をモチーフとしながらも、『カノン』が時代劇として進んでいくことにある。

「この作品は、途中までは時代劇なんですけど、くると現代に変換する場面があるんですよ。それを観て、今の時代ってどういう時代なんだろう、そしてこれから先の時代はどうなるんだろうってことを想像してもらいたくて。それを観客の皆さんに手渡せたらと思います」

取材・文:橋本倫史(ライター)

3月2日(月)～3月15日(日) シアターイースト
作:野田秀樹 演出:野上絹代
出演:中島広稀 さとうほなみ／名児耶ゆり 永島敬三
大村わたる 山本栄司 長南洸生 緒形敦
川原田樹／中林舞 手代木花野 佐々木美奈
前原麻希 本多遼 湯川拓哉 小田龍哉
村田天翔 佐野功／木津誠之 家納ジュンコ
佐藤正宏／渡辺いっけい



「カノン」関連企画 10代からのGeigeki観劇クラブ 第1回『カノン』

3月14日(土) 15:30開始 リハーサルルームM2

詳細はHPへ

「カノン」観劇後レビューを持ち寄って参加者でシェア～みんなの批評版『カノン』作りにチャレンジ! 高校生、U25を対象とした、観劇後交流イベント。「カノン」を見て、思ったこと、感じたことを素直に観劇後レビュー(1000字以内)という形で表現してみてください。

進行:木村寛(美学研究者、ダンス批評、BONUSディレクター) 佐久間新(ジャズ舞蹈家)
【対象】「カノン」高校生以下チケット、25歳以下チケットをお持ちで3月8日(日)までに観劇できる方
【料金】無料(ただし、公演鑑賞は各自チケットをお手配の上、ご鑑賞ください。) 【定員】12名(先着順・要事前申込)
【お申込期間】～2020年3月1日(日) 【お問合せ】東京芸術劇場 教育普及担当 03-5391-2116

音楽劇「星の王子さま」

原作:アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ

脚本・演出:青木豪

観れば心が豊かになる 音楽劇、待望の再演!

サン＝テグジュペリの世界的ベストセラーを、オリジナル作品からシェイクスピア劇までを手がける劇作・演出家の青木豪が新たに音楽劇として創り上げた『星の王子さま』。2015年12月～2016年1月に高い評価を得た舞台が、待望の再演を迎える。砂漠に墜落してしまった飛行士と、いくつもの星を旅してきた、小さな王子さまとの対話から見えてくる、生きる上で大切なことは……。初演に続いて主軸を担うのは、今やミュージカル界のトップランナーとなった昆夏美と伊礼彼方だ。王子さまそのまの愛らしさを持つ昆は、力強く情感豊かな歌声で、時代・世代を超えて私たちの心に響く言葉を届けてくれる。また伊礼は、最近では青木演出の『相対的浮世絵』など、ストレートプレイにも精力的に取り組んできた実力派。2019年の『レ・ミゼラブル』ではジャペール(伊礼)とエポニーヌ(昆)という大役で共演した2人に、同じく初演メンバーの廣川三憲(ナイロン100℃)が加わり、より深化した『星の王子さま』を見せてくれるに違いない。ちなみに青木にとってシアターイーストは



かつて主宰していた劇団グリングの旗揚げ、解散公演を行った縁の地でもある。「大切なものだけを残して、余分なものを削ぎ落とした」と青木が評する原作の面白さと、ピアニストが薔薇役を担うなどオリジナリティあふれる演出の融合に、イマジネーションを掻き立てられる音楽劇。観た人それぞれに感動がある、豊かな時間を味わって欲しい。

文:宇田夏苗(演劇ライター)

2月8日(土)～12日(水) シアターイースト 詳細はP11へ
原作:アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ 脚本・演出:青木豪
作曲・音楽監督:笠松泰洋
出演:昆夏美 伊礼彼方 廣川三憲(ナイロン100℃)
吉田萌美 内田靖子 岡野一平 平山トオル 原田智子
沼舘美央 大内慶子 堀江葵月
ピアノ演奏・薔薇:松木詩奈
コントラバス演奏:小美濃悠太(2/8～9) 内田義範(2/10～12) **水戸、兵庫公演あり**

芸劇dance 勅使川原三郎ダンス公演

「三つ折りの夜」

演出・振付・照明・美術:勅使川原三郎

ダンスと音楽の 3人の偉才が拓く、 夜/生の時間の秘める謎

今、ダンスは振付家ごとに多様なスタイルが並存する面白い時期にあるが、勅使川原三郎は、舞踊と音楽、言語の関係の探究、芸術的な照明と舞台美術で国際的に高く評価されている。彼と長く協働する佐東利穂子、欧州が拠点のヴァイオリニスト庄司紗矢香による新作、東京芸術劇場での世界初演だ。
創作の核は、フランスの象徴派詩人ステファヌ・マラルメが1887年に「トリプティック」として発表した3編のソネ(14音節詩)。更け行く夜、刻々と光が室内に浸透し、木材や陶器、大理石やレース、絹のテクスチュアをまとい、人間の生と死、愛の符号となる。純度の高いことばが反響し共鳴してイメージを結ぶ、類い稀な言語の芸術だ。
昨年の芸劇での『月に憑かれたピエロ』『ロスト・イン・ダンスー叙情組曲一』、一昨年にパリ・オペラ座バレエ団に振り付けた『グラン・ミロワール』でも勅



使川原はフランス語の詩に発想を得たが、マラルメは群を抜いて難解な詩人。それは言葉で描写的な事物や現象の明示を行わず、逆に人間が与えた意味を剥ぎ取り、言葉をそれ自身として捉え直すことを強いるからだ。

マラルメは通貨にも似た言葉の単純交換を嘆いたが、勅使川原も「わかりやすさと引き換えに失われるもの」に危機感を抱き、「ダンス＝振付の知識」という思考を問い直す。このテーマに対する庄司の提案は、バッハ『ラルゴ』、ストラヴィンスキー『エレジー』、イザーイ『サラバンド』、ペンデレツキ『カデンツァ』などの珠玉のヴァイオリン・ソロ。マラルメの純粹言語をめぐり、卓越した身体と音楽が「ダンスとは何か?」という問いに挑む。

文:岡見さえ

3月6日(金)～3月8日(日) プレイハウス 詳細はP13へ
演出・振付・照明・美術:勅使川原三郎
ダンス:勅使川原三郎 佐東利穂子 ヴァイオリン:庄司紗矢香 **名古屋公演あり**

eyes plus てがみ座第16回公演「燦々」

2月7日(金)～16日(日) シアターウエスト

詳細はP12へ



女性に生まれた葛藤を抱え幕末を駆けた絵師の物語

圧倒的な才能とエネルギーを持つ天才浮世絵師、葛飾北斎。その娘で、絵師の道を選んだお栄。並みいる弟子に負けない実力と絵への情熱を持ちながら、偉大過ぎる父と女性であることへの周囲の無理解とも戦って生きた彼女は、近年、ドラマや小説に取り上げられるように。そんなお栄も、歴史と現在をせりふでつなぐ長田育恵が描けば角度と深度が違う。3年前の初演時に好評を博した戯曲を改訂しての再演。出演はてがみ座劇団員と、前田亜季、酒向芳、川口寛ら。

文:徳永京子

脚本:長田育恵 演出:扇田拓也

出演:石村みか 箱田暁史 岸野健太(以上、てがみ座) 前田亜季 酒向芳 川口寛 速水映人 福本伸一 野々村のん ほか
【お問合せ】プリエール 03-5942-9025

eyes plus 烏丸ストロークロック「まほろばの景2020」

2月16日(日)～23日(日) シアターイースト

詳細はP12へ



©東直子

衝撃をもたらした作品が、全国の旅を経て帰ってくる

2018年、芸劇eyesとして上演されるや、短い公演期間ながらまたたく間にクチコミで評判が広がった「まほろばの景」。上演中から再演を望む声が数多く寄せられた同作が、更新されて帰ってくる。烏丸ストロークロックは京都を拠点に活動しつつ、近年は全国でワークショップとリサーチを重ね、そこで得たものをフィードバックしながら作品を創作する独自のスタイルを確立しつつある。日本列島を走る山脈に沿ってさまようひとりの男が出会う、土地の闇とそこで暮らす人々の人生が、文学的かつ切れ味鋭い言葉で綴られる。

文:徳永京子

作・演出:柳沼昭徳 出演:阪本麻紀 澤雅展 あべゆう 小菅紘史 小濱昭博 音楽・チェロ演奏:中川裕貴

【お問合せ】烏丸ストロークロック 080-9745-7825

芸劇eyes 玉田企画「今が、オールタイムベスト」

3月19日(木)～26日(木) シアターイースト

詳細はP14へ



「今が、オールタイムベスト」2017年公演

今年度唯一の芸劇eyesは、笑いと苦味で注目の劇団

気を遣い過ぎて周囲の空気を悪くする人、自意識過剰が引き寄せる恥ずかしさの連鎖など、絶妙なポイントを押さえて、クセになる笑いと苦味を生み出す玉田企画。作・演出・俳優を兼ねる玉田真也は、狭いストライクゾーンへの投球と、広いエンターテインメントを両立させるポテンシャルを感じさせ、その世界は映画やお笑いのファンも多い。結婚式の二次会の人々を描いた本作は、2年前に上演されて玉田企画の新機軸と言われた作品。かもめんたるの岩崎う大、口口の篠原大悟ら新キャストの活躍も楽しみ。

文:徳永京子

作・演出:玉田真也 出演:浅野千鶴 岩崎う大 神谷圭介 篠崎大悟 玉田真也 奈緒 野田慈伸 堀夏子 山科圭太
【お問合せ】玉田企画 080-3088-4072

二兎社ドラマリーディングvol.2

3月28日(土)・29日(日) シアターイースト 詳細はP14へ



2019年2月公演

永井愛の戯曲を使った、せりふに特化したワークショップで稽古を積んだ若手俳優たちがその成果を披露。ワークショップで使用したシーンをオムニバス形式でつなげ、多彩な永井戯曲のエッセンスを一つの舞台で楽しむことができる内容になる予定。好評の2019年2月に続く第2弾!

作・演出:永井愛 出演:ワークショップ参加者
【お問合せ】二兎社 03-3991-8872

COMING UP NEXT 2020.4-6 演劇・ダンスラインナップ

4月10日(金)～19日(日) シアターイースト 若手提携 範宙遊泳

5月1日(金)～6日(水・休) シアターイースト、シアターウエスト ほか TACT/FESTIVAL ステレオプティク(フランス)新作 ほか

5月28日(木)～6月21日(日) シアターイースト 共催 イキウメ 新作

5月30日(土)～6月7日(日) プレイハウス 木ノ下歌舞伎「三人吉三」

6月19日(金)～6月21日(日) プレイハウス リゅーとびあ共催 芸劇dance Noism「春の祭典」

6月27日(土)～7月5日(日) シアターイースト 若手提携 口口

※日程等に変更が出る場合がございます。

1 JAN ▶

1水曜
2木
3金
4土
5日
6月
7火
8水
9木
10金
11土
12日
13月・祝
14火
15水
16木
17金
18土
19日
20月
21火
22水
23木
24金
25土
26日
27月
28火
29水
30木
31金

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

〔 休演日を除く
10:00～19:00 〕

東京芸術劇場
ホームページ

www.geigeki.jp

休演日: 1日(水・祝)～3日(金)・20日(月)・21日(火)

Concert Hall

4日(土) 14:00開演

BOX

野尻多佳子ピアノソロリサイタル

出演 野尻多佳子 (Pf)
曲目 ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱」より第4楽章 (ピアノソロ版)
ブラームス／ピアノソナタ第3番
ベートーヴェン／ピアノソナタ第23番「熱情」
ピアノソナタ第21番「ヴァルトシュタイン」
料金 前売…S:5,000円／A:4,000円／ハートシート:1,500円
当日…S:7,000円／A:5,000円／ハートシート:2,000円
問合せ 文化発信促進委員会 03-3455-6881

5日(日) 14:00開演

BOX

第55回神奈川大学吹奏楽部定期演奏会

出演 小澤俊朗 (Cond)／田村優弥 (Tub)／
神奈川大学吹奏楽部
曲目 交響三章より第3楽章
チューバと吹奏楽のための協奏曲
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番より「シャコンヌ」
組曲「展覧会の絵」ほか
料金 SS:2,500円／S:2,000円／A:1,500円／B:1,000円
問合せ 神奈川大学吹奏楽部 045-481-2989

10日(金) 19:00開演

BOX

ベートーヴェン生誕250周年記念
ミーツ・ベートーヴェン・シリーズVol.1 仲道郁代

出演 仲道郁代 (F・Pf,Pf)
曲目 【フォルテピアノ:シュタインで演奏】
ベートーヴェン／ピアノソナタ第8番 ハ短調 op.13「悲愴」
ピアノソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」より第1楽章
【フォルテピアノ:ブロードウッドで演奏】
ベートーヴェン／ピアノソナタ第30番 ホ長調 op.109
【ヤマハCFXで演奏】
ベートーヴェン／ピアノソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」
ピアノソナタ第21番 ハ長調 op.53「ワルトシュタイン」
料金 S:5,000円／A:4,000円／B:3,000円／
高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

11日(土) 18:00開演

BOX

オリンピックコンサート2020 in 東京
プレミアムサウンドシリーズ

出演 海老原光 (Cond)／THE ORCHESTRA JAPAN
曲目 オリピック東京大会ファンファーレ
オリンピック・マーチ
歌劇「運命の力」序曲 ほか
料金 S:5,000円／A:3,900円／B:2,020円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

12日(日) 13:30開演

BOX

オーケストラハモン 第42回定期演奏会

出演 富平恭平 (Cond)／オーケストラハモン
曲目 シューマン／序曲、スケルツォとフィナーレ
ハンス・ロット／交響曲第1番
料金 S:2,000円／A:1,500円／B:1,000円
問合せ オーケストラハモン担当者 090-9855-5065

13日(月・祝) 14:00開演

BOX

白金フィルハーモニー管弦楽団
第28回定期演奏会

出演 汐澤安彦 (Cond)／白金フィルハーモニー管弦楽団
曲目 チャイコフスキー／スラヴ行進曲
イタリヤ綺想曲
交響曲第5番
料金 【全席指定】1,000円
問合せ 白金フィル事務局 090-6475-9685

15日(水) 11:00開演

BOX

表劇フランチコンサート
名曲リサイタル・サロン 第5回「岡本侑也」

出演 岡本侑也 (Vc)／八塩圭子 (ナビゲーター)
曲目 J.S.バッハ／無伴奏チェロ組曲 第1番ト長調 BWV1007
カザルス／鳥の歌
コダーイ／無伴奏チェロ・ソナタ op.8
料金 【全席指定】2,400円
※5歳以上入場可
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

16日(木) 12:15開演

BOX

ランチタイム・パイプオルガンコンサート Vol.136

出演 川越聡子 (Org)
料金 【全席自由】500円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

16日(木) 14:00開講

BOX

パイプオルガン講座
第81回 -音づくりのひみつVol.3- 〜ドイツ〜

講師 小林英之
朗読師 新山恵理／マテュー・ガルニエ
料金 1,000円 (定員60名)
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

18日(土) 14:00開演

BOX

としま区民芸術祭 第30回
豊島区吹奏楽団ニューイヤーコンサート

出演 大釜宏之 (Cond)／豊島区吹奏楽団
曲目 古関裕而／東京オリンピックマーチ
J・ヴァン＝デル＝ロースト／オリンピック
フィリップ・スパーク／ゾディアック・ダンス (干支の舞) ほか
料金 【全席指定】前売:1,000円／当日:1,200円／
吹奏×管弦セット券[～1月17日(金)]:1,500円／
中学生以下:無料 (要予約)
問合せ としまチケットセンター 0570-056-777

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
取扱いのある公演 (取扱いのない券種もございます)……
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・*は劇場ボックスオフィスでのみ取扱い。
・年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

19日(日) 14:00開演

BOX

新交響楽団第248回演奏会

出演 飯守泰次郎 (Cond)／新交響楽団
曲目 モーツァルト／歌劇「魔笛」序曲
ハイドゥン／交響曲第104番「ロンドン」
チャイコフスキー／交響曲第6番「悲愴」
料金 S:3,000円／A:2,500円／B:1,500円
問合せ コンサートイマジニ 03-3235-3777

22日(水) 19:00開演

BOX

2020都民芸術フェスティバル参加公演 オーケストラ・シリーズNo.51
日本フィルハーモニー交響楽団

出演 小林研一郎 (Cond)／周防亮介 (Vn)／
日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 チャイコフスキー／ヴァイオリン協奏曲
ムソルグスキー (ラヴェル編)／組曲「展覧会の絵」
料金 A:4,000円 (学生:3,000円)／B:3,000円 (学生:2,000円)／
C:2,000円 (学生:1,000円)
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

23日(木) 19:00開演

BOX

東京芸術劇場 海外オーケストラシリーズ
フィルハーモニア管弦楽団

出演 エサ＝ベッカ・サロネン (Cond)／トゥルルス・モルク (Vc)／
フィルハーモニア管弦楽団
曲目 ラヴェル／組曲『クープランの墓』
サロネン／チェロ協奏曲※日本初演
ストラヴィンスキー／バレエ音楽『春の祭典』
料金 S:24,000円／A:20,000円／B:16,000円／
C:12,000円／D:8,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

24日(金) Closed・関係者のみ

BOX

板橋区立中学校オーケストラ鑑賞教室

略語表
アルト(A)／ベース(B)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コントラバス(Cb)／チェンバロ(Cemb)／合唱(Chor)／クラリネット(Cl)／指揮者(Cond)／ユーフォ
ニアム(Euph)／ファゴット(Fg)／フルート(FI)／ホルテ・ピアノ(F・Pf)／ハープ(Hp)／ホルン(Hr)／メソソプラノ(Ms)／オーボエ(Ob)／パイプオルガン
(Org)／パーカッション(Per)／ピアノ(Pf)／ソプラノ(S)／サクソフォン(Sax)／テノール(T)／トロンボーン(Tb)／ティンパニ(Timp)／トランペット(Tp)／
チューバ(Tub)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／ヴァイオリン(Vn)

25日(土) 14:00開演

BOX

コバケン・ワールドVol.24

出演 小林研一郎 (Cond)／千住真理子 (Vn)／
日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 J.シュトラウスII世／ワルツ《春の声》
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルザーク／交響曲第9番《新世界より》ほか
料金 S:6,800円／A:5,300円／B:4,200円／P:3,200円／
Gs:4,500円／Ks:1,500円
問合せ 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911

26日(日) 14:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団
第128回定期演奏会

出演 内藤彰 (Cond)／福岡光太郎 (Pf)／
東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ラフマニノフ／「ヴォカリーズ」 (管弦楽版)
ピア／協奏曲 第2番
ショスタコーヴィチ／交響曲 第5番「革命」
料金 S:6,500円／A:5,000円／B:3,500円／C:2,500円
問合せ 事務局チケットデスク 03-5933-3266

27日(月) 19:00開演

BOX

2020都民芸術フェスティバル参加公演 オーケストラ・シリーズNo.51
読売日本交響楽団

出演 横山奏 (Cond)／横山幸雄 (Pf)／読売日本交響楽団
曲目 ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
交響曲第5番「運命」
料金 A:4,000円 (学生:3,000円)／B:3,000円 (学生:2,000円)／
C:2,000円 (学生:1,000円)
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

Playhouse

13日(月・祝)～2月2日(日)

BOX

PARCO PRODUCE 2020
「FORTUNE(フォーチュン)」

作 サイモン・スティーヴンス 翻訳 広田敦郎 演出 ショーン・ホームズ 美術・衣装 ポール・ウィルズ
出演 森田剛／吉岡里帆／田畑智子／市川しんぺー／平田敦子／菅原永二／内田亜希子／皆本麻帆／前原滉／斉藤直樹／津村知与支／根岸季衣／鶴見辰吾
料金 【全席指定】プレビュー公演[1月13日(月・祝)]…9,000円
本公演…10,500円
問合せ パルコステージ 03-3477-5858

1月	13 月・火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土	2 日
13:00					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:00	◆	●			●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
◆=プレビュー公演																				

Theatre East

10日(金)～16日(木)

BOX

芸術dance
ダンス 田中泯 ーオドリに惚れちゃって!ー「形の冒険 II ー ムカムカ版」

演出・出演 田中泯
料金 【全席自由(整理番号付)】一般:4,000円／25歳以下*:3,000円 (前売のみ)
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

1月	10 金	11 土	12 日	13 月・祝	14 火	15 水	16 木
15:00		●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●

◎終演後、観客との「トークセッション」を予定 (詳細未定)。

25日(土)～2月5日(水)

BOX

「エブリ・ブリリアント・シング」
～ありとあらゆるステキなこと～

作 ダンカン・マクミラン／ジョニー・ドナヒュー 脚本・演出 谷賢一 出演 佐藤隆太
料金 【全席指定】プレビュー公演[1月25日(土)・1月26日(日)]…一般:4,500円／65歳以上*:4,000円／25歳以下*:2,500円／高校生以下*:1,000円
本公演…一般:5,000円／65歳以上*:4,500円／25歳以下*:3,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

1月	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金	2 土	3 日	4 月	5 火
13:00		★			●			●			●
14:00								●			
17:00	●										
18:00											
19:00		●				★	●				●

※1月25日(土)・26日(日)はプレビュー公演
※演出の都合上、お早めにご着席いただきますようお願いいたします。
★=ポストトーク…26日(日):谷賢一／30日(木):佐藤隆太×谷賢一

Theatre West

10日(金)～13日(月・祝)

BOX

多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科 第三期 卒業制作演劇公演
「黄昏ゆーれいランド」

作 青木幸也
演出 葛生大雅
監修 糸井幸之介
料金 【全席指定】:S席:3,000円／A席:2,000円／U18:1,000円
問合せ 多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科 03-3702-1186

1月	10 金	11 土	12 日	13 月・祝
13:00	●	●	●	●
18:00		★	★	
18:30	●			●
★=アフタートーク				

17日(金)・18日(土)

BOX

五十田安希ひとり芝居
「マクベス夫人の幻想と現実との交叉」

原作 W.シェイクスピア 台本演出 吾妻正
出演 五十田安希
料金 【全席指定】5,500円
問合せ 五十田安希事務所 090-4416-0184

1月	17 金	18 土
13:30		●
14:00	●	
19:00	●	

19日(日) 14:00開演

BOX

第32回
リリカル・スウィングジャズオーケストラ定期演奏会

料金 【全席自由】1,000円
問合せ リリカル・スウィングジャズオーケストラ 080-6596-2920

25日(土)～2月2日(日)

BOX

「沖繩世 うちなーゆ」

作 古川健
演出 小笠原響
出演 島田歌穂／島山昌克／きゃんひとみ／高橋洋介／原田祐輔／下條アトム
料金 【全席指定】一般前売:5,500円／一般当日:6,000円／
シニア(60歳以上)前売当日:5,000円／U-25前売当日:3,000円
問合せ トム・プロジェクト 03-5371-1153

1月	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金	2 土	3 日
14:00	●	●							
19:00			●		■	●		★	●
■=バックステージツアー ★=アフタートーク									

2 FEB ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29

東京芸術劇場ボックスオフィス0570-010-296

東京芸術劇場ホームページwww.geigeki.jp

休館日・3日(月)・17日(月)

Concert Hall

1日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第224回 土曜マチネーシリーズ

出演 山田和樹(Cond)／ネマニヤ・ラドゥロヴィチ(Vn)
曲目 マーラー／花の章
ハチャトゥリアン／ヴァイオリン協奏曲 二短調
マーラー／交響曲第1番「巨人」
料金 S:7,600円／A:5,600円／B:4,600円／C:4,100円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

2日(日) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第224回 日曜マチネーシリーズ

出演 山田和樹(Cond)／ネマニヤ・ラドゥロヴィチ(Vn)
曲目 マーラー／花の章
ハチャトゥリアン／ヴァイオリン協奏曲 二短調
マーラー／交響曲第1番「巨人」
料金 S:7,600円／A:5,600円／B:4,600円／C:4,100円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

7日(金) 19:00開演

BOX

2020都民芸術フェスティバル参加公演 オークストラ・シリーズNo.51
東京フィルハーモニー交響楽団

出演 渡邊一正(Cond)／花房晴美(Pf)／東京フィルハーモニー交響楽団
曲目 ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番
交響曲第2番
料金 A:4,000円(学生:3,000円)／B:3,000円(学生:2,000円)／
C:2,000円(学生:1,000円)
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

8日(土) 14:30開演

陸上自衛隊中央音楽隊
第159回定期演奏会

出演 樋口孝博(Cond)／齊藤一郎(Cond)／陸上自衛隊中央音楽隊
曲目 未定
料金 【全席指定】入場無料(要事前応募)
問合せ 陸上自衛隊中央音楽隊 plans-cband@inet.gsdf.mod.go.jp

9日(日) 14:00開演

BOX

オーケストラ・ダスピダーニャ
第27回定期演奏会

出演 長田雅人(Cond)／大木麻理(Org)／オーケストラ・ダスピダーニャ
曲目 ショスタコーヴィチ／映画『馬あぶ』の音楽による組曲より
映画『黄金時代』の音楽による組曲
交響曲第15番
料金 【全席指定】2,000円
問合せ オーケストラ代表 090-3916-3702

11日(火・祝) 15:00開演

BOX

第16回 子どもたちと芸術家の出あう街

出演 原田慶太楼(Cond)／三輪亜希子(ダンサー)／
田添菜穂子(MC)／新日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 音楽でつむぐものがたりの世界
チャイコフスキー／バレエ音楽『くるみ割り人形』組曲より「小序曲」
リムスキー＝コルサコフ／歌劇『皇帝サルタン物語』より「くまんばちの飛行」
シュライナー／インマー・クライナー
アンダーソン／サウンドペーパー・バレエ
チャイコフスキー／バレエ音楽『くるみ割り人形』組曲より「花のワルツ」
音楽によって、ワクワク気分が踊りだす！
ビゼー／『カルメン』第2組曲より「ジプシーの踊り」
米津玄師／バブリカ
メンケン／美女と野獣
ブラームス／ハンガリー舞曲第5番
外山雄三／管弦楽のためのラプソディー
料金 おとな…S:4,000円／A:3,000円／B:2,000円
こども…S:2,000円／A:1,500円／B:1,000円
※こども:4歳～高校生(0～3歳児入場不可)
新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815

12日(水) 11:00開演

BOX

芸劇ブランチコンサート
～清水和音の名曲ラウンジ～
第23回「ラフマニノフに酔いしれて」

出演 ヴィタリ・コシュマノフ(Br)／
後上聡司(Pf)／清水和音(Pf)
曲目 ラフマニノフ／ヴォカリーズ
クライスラー／愛の喜び(ラフマニノフ編)
ラフマニノフ／ヴォカリーズ
歌劇「アレコ」より「カヴァティーナ」
夜の神秘的な静けさの中
2台のピアノのための組曲第1番「幻想的絵画」
料金 【全席指定】2,400円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)……
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・※は劇場ボックスオフィスでのみ取扱い。
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

13日(木) 19:30開演

BOX

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.30

出演 新山恵理(Org)／松下耕(作曲&Cond)
The Metropolitan Chorus of Tokyo(Chor)
曲目 N.de,グリニ／賛歌「舌よ歌え」
松下耕／『ミサ曲第2番』
J.G.ラインベルガー／オルガン・ソナタ第4番イ短調 Op.98
松下耕／クレド※新作委嘱作品
料金 【全席指定】1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

15日(土) 14:00開演

BOX

東京佼成ウインドオーケストラ
第147回定期演奏会

出演 トーマス・ザンデルリンク(Cond)／東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 ショスタコーヴィチ(大橋晃一編)／祝典序曲
(J.デ・メイ編)／ジャズ組曲第2番
(伊藤康英編)／交響曲第5番「革命」
料金 S:7,000円／A:5,500円／B:4,000円／C:1,500円／
U-25:2,000円
問合せ 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

16日(日) 13:30開演／18:30開演

東京ニューシティ管弦楽団 第5回ポップス定期演奏会
ロマンシング・サガ オーケストラ祭(フェス)

出演 内藤彰(Cond)／伊藤賢治(Pf)／東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ロマンシングサガ1・2・3
ロマンシングサガ ミンストレルソング
SaGa THE STAGE ほか
料金 【全席指定】9,000円
問合せ BSフジイベントお問合せ event@bsfuji.co.jp

11日(火・祝)～3月1日(日)

BOX

「ねじまき鳥クロニクル」

原作 村上春樹 演出・演出・美術 インバル・ピント
脚本・演出 アミール・クワター／藤田貴大 音楽 大友良英
出演 成河／渡辺大知／門脇麦／大貫勇輔／徳永えり／松岡広大／成田亜佑美／さとうこうじ／吹越満／銀粉蝶 ほか
料金 【全席指定】S席:11,000円／サイドシート:8,500円
問合せ ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

2月	11 火祝	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日祝	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	3月 1日
13:00						●				●										●
13:30			●	●						●	●								●	
15:00	●																			
18:00					●									●	●				●	
18:30		●	●							●							●	●		

Playhouse

～2日(日)

PARCO PRODUCE 2020
「FORTUNE(フォーチュン)」

作 サイモン・スティーヴンス 翻訳 広田敦郎 演出 ショーン・ホームズ 美術・衣装 ポール・ウィルス
出演 森田剛／吉岡里帆／田畑智子／市川しんぺー／平田敦子／菅原永二／内田亜希子／皆本麻帆／前原滉／斉藤直樹／津村知与支／根岸季衣／鶴見辰吾
料金 【全席指定】10,500円
問合せ パルコステージ 03-3477-5858

2月	1 土	2 日
13:00	●	●
18:00	●	●

～5日(水)

BOX

「エブリ・ブリリアント・シング」
～ありとあらゆるステキなこと～

作 ダンカン・マクミラン／ジョニー・ドナヒュー 翻訳・演出 谷賢一
出演 佐藤隆太
料金 【全席指定】一般:5,000円／65歳以上*:4,500円／
25歳以下*:3,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

2月	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水
13:00	●	●			●
18:00	●	●		休演	
19:00					●

※演出の都合上、お早めにご着席いただきますようお願いいたします。

8日(土)～12日(水)

BOX

音楽劇「星の王子さま」

原作 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ 脚本・演出 青木豪 作曲・音楽監督 笠松泰洋
出演 昆夏美／伊礼彼方／廣川三憲(ナイロン100℃)／
吉田萌美／内田靖子／岡野一平／平山トオル／原田智子／
沼館美央／大内慶子／堀江美月／松木詩奈(Pf・蕾薇)／
小美濃悠太(Cb)[8日(土)・9日(日)]／内田義範(Cb)[10日(月)～12日(水)]
料金 【全席指定】6,000円 問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

2月	8 土	9 日	10 月	11 火祝	12 水
13:00		●		●	
14:00					●
17:00	●	★		☆	
19:00		★			

★=終演後にアフタートークあり
(出演:昆夏美／伊礼彼方／
廣川三憲)
☆=追加公演

Theatre East

～2日(日)

BOX

「沖縄世 うちなーゆ」

作 古川健
演出 小笠原響
出演 島田歌穂／鳥山昌克／きゃんひとみ／高橋洋介／原田祐輔／下條アトム
料金 【全席指定】一般前売:5,500円／一般当日:6,000円／
シニア(60歳以上)前売当日:5,000円／U-25前売当日:3,000円
問合せ トム・プロジェクト 03-5371-1153

2月	1 土	2 日
14:00	●	●
19:00	●	●

4日(火) 18:00開演

2020都民芸術フェスティバル参加公演
第50回 都民寄席 講談の会

出演 神田春陽／宝井琴調／
神田松鯉／長井好弘／一龍齋貞水
料金 【全席自由】入場無料(要事前申込)
問合せ 都民寄席実行委員会事務局 03-3833-8622

7日(金)～16日(日)

BOX

eyes plus
てがみ座第16回公演「燦々」

脚本 長田育恵 演出 扇田拓也
出演 石村みか／箱田暁史／岸野健太(以上、てがみ座)／
前田亜季／酒向芳／川口寛／速水映人／福本伸一(ラッパ屋)／
野々村のん(青年座)／宇井晴雄／藤間爽子／中村シュン
料金 【全席指定】前売…一般:4,700円／25歳以下:3,700円
当日…一般:5,000円／25歳以下:4,000円
問合せ プリエール 03-5942-9025

2月	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火祝	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日
14:00	●	●				★			●	●
19:00	※		★		●	●		●	●	

※=初日割引(各200円引き)
★=アフタートークあり

20日(木)～3月1日(日)

ミュージカル・ギルドq.
第16回公演
「Last shangri-La」

作・演出 田中広喜 作曲 金井信
出演 沼尾みゆき／鈴木千夏／荒山由沙／橋本愛奈 ほか
料金 【全席指定】プレミアムシート:8,000円／一般前売:7,000円／一般当日7,500円
問合せ Musical Art Stage 03-5738-7681

2月	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	3月 1日
13:00			●	●	●					●	
14:00						休演		●	●		
18:00			●	●	●			●	●		
19:00	●	●					●	●	●		

3MAR▶

12345678910111213141516171819202122232425262728293031

日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

〔 休館日を除く
10:00～19:00 〕

東京芸術劇場
ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・9日(月)・10日(火)

Concert Hall

1日(日) 18:00開演

創価グローリア吹奏楽団 第34回定期演奏会

出演 中村睦郎 (Cond) / 創価グローリア吹奏楽団
曲目 バレエ音楽「中国の不思議な役人」より
料金 無料(事前申込・抽選)
問合せ 創価学会音楽隊 妙音会館 03-3363-9671

6日(金) 19:00開演

2020都民芸術フェスティバル参加公演 オークストラ・シリーズNo.51
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

出演 藤岡幸夫 (Cond) / 上野優子 (Pf) /
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
曲目 ティーリアス / 「小管弦楽のための2つの小品」より
春初めてのカッコウの声を聴いて
モーツァルト / ピアノ協奏曲第26番「戴冠式」
ショスタコーヴィチ / 交響曲第5番「革命」
料金 A:4,000円(学生:3,000円) / B:3,000円(学生:2,000円) /
C:2,000円(学生:1,000円)
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

7日(土) 19:00開演

第9回耕友会コンサート
ベンジャミン・ブリテン「戦争レクイエム」

出演 松下耕 (Cond) / 梶山絵美 (児童合唱指揮) / 豊越満美 (S) / 村上敬明 (T) /
カル・カン (Br) / The Metropolitan Chorus of Tokyo (Chor) /
横浜シフオニエッタ / 前田勝則 (Pf) /
みなみ野キッズシンガーズ (Chor) / 佐倉ジュニア合唱団 (指導:戸谷登貴子)
曲目 ベンジャミン・ブリテン / 戦争レクイエム
料金 SS:10,000円 / S:8,500円 / A:6,500円 / B:5,500円
問合せ 耕友会事務局 042-786-6517

8日(日) 14:00開演

東京ニューシティ管弦楽団
第129回定期演奏会

出演 原田慶太楼 (Cond) / ヴィルモシュ・ザバティ (Vn) / 東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ベートーヴェン / ヴァイオリン協奏曲
チャイコフスキー / 交響曲第5番
料金 S:6,500円 / A:5,000円 / B:3,500円 / C:2,500円
問合せ 事務局チケットデスク 03-5933-3266

Playhouse

1日(日) 13:00開演

「ねじまき鳥クロニクル」

原作 村上春樹 演出・振付・美術 インバル・ピント
脚本・演出 アミール・クリガー / 藤田貴大
音楽 大友良英
出演 成河 / 渡辺大知 / 門脇麦 / 大貫勇輔 /
徳永りり / 松岡広大 / 成田亜佑美 /
さとうこうじ / 吹越満 / 銀粉蝶 ほか
料金 【全席指定】 S席:11,000円 /
サイドシート:8,500円
問合せ ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

11日(水) 11:00開演

芸劇ブランチンコンサート
名曲リサイタル・サロン 第6回「辻彩奈」

出演 辻彩奈 (Vn) / 阪田知樹 (Pf) / ナビゲーター:八塩圭子
曲目 J.S.バッハ / G線上のアリア
モーツァルト / ソナタ 第34番 変ロ長調 K.378
ブラームス / F.A.E.ソナタより スケルツォ
ソナタ 第3番 二短調 op.108
料金 【全席指定】2,400円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

11日(水) 19:00開演

ジャナンドレア・ノセダ音楽監督・指揮
ワシントン・ナショナル交響楽団

出演 ジャナンドレア・ノセダ (Cond) / ワシントン・ナショナル交響楽団
曲目 シューベルト / 交響曲第7番「未完成」
マーラー / 交響曲第5番
料金 S:17,000円 / A:15,000円 / B:10,000円 /
C:7,000円 / 学生:5,000円
問合せ ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

12日(木) 12:15開演

ランチタイム・パイプオルガンコンサート Vol.137

出演 平井靖子 (Org)
料金 【全席自由】500円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

14日(土) 14:00開演

読売日本交響楽団
第225回 土曜マチネーシリーズ

出演 セバスティアン・ヴァイグレ (Cond) /
ルーカス・ゲニューシャス (Pf)
曲目 ベートーヴェン / ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
R.シュトラウス / 交響詩「英雄の生涯」
料金 S:7,600円 / A:5,600円 / B:4,600円 / C:4,100円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

15日(日) 14:00開演

読売日本交響楽団
第225回 日曜マチネーシリーズ

出演 セバスティアン・ヴァイグレ (Cond) /
ルーカス・ゲニューシャス (Pf)
曲目 ベートーヴェン / ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
R.シュトラウス / 交響詩「英雄の生涯」
料金 S:7,600円 / A:5,600円 / B:4,600円 / C:4,100円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

17日(火) 19:00開演

2020都民芸術フェスティバル参加公演 オークストラ・シリーズNo.51
NHK交響楽団

出演 熊倉優 (Cond) / 白井圭 (Vn) / NHK交響楽団
曲目 メンデルスゾーン / 序曲「フィンガルの洞窟」
ブルッフ / ヴァイオリン協奏曲第1番
シューマン / 交響曲第3番「ライン」
料金 A:4,000円(学生:3,000円) / B:3,000円(学生:2,000円) /
C:2,000円(学生:1,000円)
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

18日(水) 19:00開演

2020都民芸術フェスティバル参加公演 オークストラ・シリーズNo.51
東京都交響楽団

出演 梅田俊明 (Cond) / 伊藤悠真 (Vc) / 東京都交響楽団
曲目 ドヴォルザーク / チェロ協奏曲
交響曲第7番
料金 A:4,000円(学生:3,000円) / B:3,000円(学生:2,000円) /
C:2,000円(学生:1,000円)
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・*は劇場ボックスオフィスでのみ取扱い。
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

19日(木) 18:30開演

慶應義塾高等学校・女子高等学校
ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
第60回定期演奏会

出演 久保田誠吾 (Cond) /
慶應義塾高等学校・女子高等学校 ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
曲目 プラームス / 大学祝典序曲
J.シュトラウス2世 / 喜歌劇「こもり」序曲
ラフマニノフ / 交響曲第2番
料金 S:700円 / A:500円 / 高校生以下:無料
問合せ 慶應義塾高等学校・女子高等学校 ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
keiowagner2020.0319@gmail.com

20日(金・祝) 14:00開演

日立フィルハーモニー管弦楽団
第48回定期演奏会

出演 田部井剛 (Cond) / 日立フィルハーモニー管弦楽団
曲目 ティーリアス / 春初めてのカッコウを聴いて
レスピーギ / ローマの祭
ブルクナー / 交響曲第6番
料金 【全席指定】前売:1,500円 / 当日:2,000円
問合せ 日立フィル事務局 070-6666-4711

21日(土) 14:00開演

都民交響楽団 第129回定期演奏会

出演 末廣誠 (Cond) / 都民交響楽団
曲目 マーラー / 交響曲第6番
料金 【全席指定】入場無料(要事前応募・抽選)
問合せ 都民交響楽団 担当者 080-3247-2869

22日(日) 14:00開演

日本フィル 第230回サンデーコンサート

出演 西本智実 (Cond) / 日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 チャイコフスキー / バレエ音楽《眠れる森の美女》より抜粋
バレエ音楽《くるみ割り人形》より抜粋
バレエ音楽《白鳥の湖》より抜粋
料金 S:8,000円 / A:6,500円 / B:6,000円 / C:5,000円 /
GS:5,000円 / YS:3,500円 /
問合せ 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911

19日(木)～24日(火)

さまぁ～ずライブ12

作・演出 大竹一樹 / 三村マサカズ
出演 さまぁ～ず ほか
料金 【全席指定】9,000円
問合せ ホリプロ 03-3490-4611

19日(木)～26日(木)

芸劇leyes
玉田企画「今が、オールタイムベスト」

作・演出 玉田真也
出演 浅野千鶴(味わい堂々) / 岩崎う大(かもめんたる) / 神谷圭介(テニスコート) / 篠崎大悟(口口) / 玉田真也 / 奈緒 / 野田慈伸(桃尻犬) / 堀夏子(青年団) / 山科圭太
料金 【全席自由(整理番号付)】一般前売:3,800円 / 一般当日:4,000円 / 学生前売当日:2,500円 / 高校生以下前売当日:1,000円
問合せ 玉田企画 080-3088-4072

14日(土)～17日(火)

劇団山の手事情社 創立35周年記念公演
「桜姫東文章」

原作 鶴屋南北 脚本・演出 安田雅弘
出演 山本芳郎 / 川村岳 / 斉木和洋 / 越谷真実 / 中川佐織 ほか
料金 【全席指定】ペア券:8,400円
前売…一般:4,500円 / U25:3,500円 / 高校生以下:1,000円
当日各500円増
問合せ 劇団山の手事情社 03-6410-9056

略語表
アルト(A) / ベース(B) / バリトン(Br) / バス(Bs) / コントラバス(Cb) / チェンバロ(Cemb) / 合唱(Chor) / クラリネット(Cl) / 指揮者(Cond) / ユーフォ
ニアム(Euph) / ファゴット(Fg) / フルート(Fl) / ハープ(Hp) / ホルン(Hr) / メゾソプラノ(Ms) / オーボエ(Ob) / バイプオルガン(Org) / パーカッション
(Per) / ピアノ(Pf) / ソプラノ(S) / サクソフォン(Sax) / テノール(T) / トロンボーン(Tb) / ティンパニ(Timp) / トランペット(Tp) / チューバ(Tub) / ヴィオ
ラ(Va) / チェロ(Vc) / ヴァイオリン(Vn)

24日(火) 19:00開演

2020都民芸術フェスティバル参加公演 オークストラ・シリーズNo.51
新日本フィルハーモニー交響楽団

出演 阿部加奈子 (Cond) / 仲道都代 (Pf) /
新日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 ショパン / ピアノ協奏曲第1番
チャイコフスキー / 交響曲第6番「悲愴」
料金 A:4,000円(学生:3,000円) / B:3,000円(学生:2,000円) /
C:2,000円(学生:1,000円)
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

25日(水) 18:30開演

立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部
第22回定期演奏会

出演 西澤宏佳 (Cond) / アントニオ古賀 /
立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部
曲目 フォーレ / シチリアーノ
バーンスタイン / デイベルティメント
M.シュナイダー / アントニオ・カルロス・ジョビン メドレー ほか
料金 入場無料
問合せ 立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部 rikkyo.wo@live.jp

27日(金) 14:00開演

東京都交響楽団 第899回定期演奏会

出演 小泉和裕 (Cond) / 東京都交響楽団
曲目 モーツァルト / 歌劇「魔笛」序曲
湯浅譲二 / 交響組曲《奥の細道》(1995) [湯浅譲二90歳記念]
ドヴォルザーク / 交響曲第8番
料金 S:6,500円 / A:5,500円 / B:4,500円 / C:3,500円 /
EX:2,500円
問合せ 都響ガイド 0570-056-057

26日(木)・27日(金) 19:00開演

2020都民芸術フェスティバル参加公演
現代舞踊公演
「時空をこえる旅ー舞台ーへようこそ」

出演 宮本舞(両日) / 中村しんじ(26日) / 馬場ひかり(27日)
料金 【全席指定】4,100円
問合せ 現代舞踊協会 03-5457-7731

29日(日) 15:00開演

東京芸術劇場&ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画
第9回音楽大学フェスティバル・
オーケストラ

出演 井上道義 (Cond) /
音楽大学フェスティバル・オーケストラ
[参加音楽大学:上野学園大学 / 国立音楽大学 /
昭和音楽大学 / 洗足学園音楽大学 / 東京音楽大学 /
東京藝術大学 / 東邦音楽大学 / 桐朋学園大学 /
武蔵野音楽大学 / 京都市立芸術大学]
曲目 ヨーゼフ・シュトラウス / ワルツ「天体の音楽」
伊福部昭 / シンフォニア・タプカール
ストラヴィンスキー / バレエ音楽「春の祭典」
料金 S:2,000円 / A:1,500円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

31日(火) ①11:30開演 ②13:30開演

芸劇&読響
0才から聴こう!!&4才から聴こう!!
春休みオーケストラコンサート

出演 沖澤のどか (Cond) / 金野龍篤 (Sax) /
ナビゲーター:小林よしひさ / 読売日本交響楽団
曲目 ドヴォルザーク / スラヴ舞曲 第1番 / 長調
メンデルスゾーン / 劇音楽「真夏の夜の夢」から「結婚行進曲」
三木たかし / アノシマンのマーチ(①のみ)
ミヨー / 「スカラムーシュ」から第3曲(②のみ)
モンティ / チャルダシュ
J.シュトラウス1世 / ラデツキー行進曲(①のみ)
ブラームス / ハンガリー舞曲 第1番 短調(②のみ)
J.シュトラウス2世 / ポリカ「観光列車」(①のみ)
チャイコフスキー / バレエ音楽「くるみ割り人形」から「あしひきの踊り」(②のみ)
外山雄三 / 管弦楽のためのラプソディ
料金 S:3,500円 / A:2,500円 /
子ども(3才以上小学生まで / S席・A席共通):1,000円
①・0才から入場可。保護者の膝上の場合、2才まで無料
(保護者1名につき子ども1名まで)。座席を必要とする場合は要チケット購入。
②・4才から入場可(3才以下入場不可・全席有料)。
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

28日(土)・29日(日) 13:00開演

2020都民芸術フェスティバル参加公演
第51回東京都民俗芸能大会

料金 入場無料(事前申込)
問合せ 東京都民俗芸能実行委員会 042-544-3936

Theatre East

2日(月)～15日(日)

「カノン」

作 野田秀樹 演出 野上綱代
出演 中島広稀 / さとうはなみ / 名児耶ゆり / 永島敬三 / 大村わたる / 山本栄司 / 長南洸生 / 緒形敦 / 川原田樹 / 中林舞 / 手代木花野 /
佐々木美奈 / 前原麻希 / 本多遼 / 湯川拓哉 / 小田龍哉 / 村田天翔 / 佐野功 / 木津誠之 / 家納ジュンコ / 佐藤正宏 / 渡辺いっけい
料金 【全席指定】一般:5,000円 / 65歳以上*:4,500円 / 25歳以下*:3,500円 / 高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Theatre West

1日(日) 13:00開演

ミュージカル・ギルドq.
第16回公演「Last shangri-La」

作・演出 田中広喜 作曲 金井信
出演 沼尾みゆき / 鈴木千夏 / 荒山由沙 / 橋本愛奈 ほか
料金 【全席指定】プレミアムシート:8,000円 / 一般前売:7,000円 / 一般当日7,500円
問合せ Musical Art Stage 03-5738-7681

4日(水)～8日(日)

2020都民芸術フェスティバル参加公演
Pカンパニー第29回公演
「京河原町四条上ル近江屋二階 一夢、幕末青年の。」

作・演出 福田善之
出演 平田広明 / 林次樹 / 早野ゆかり / 前田昌明 / 観世葉子 ほか
料金 【全席指定】一般:6,000円 / シニア割(65歳以上):5,000円 / 学生割:1,500円
問合せ Pカンパニー 03-6808-5306

20日(金・祝)～29日(日)

unrato#6「冬の時代」

作 木下順二 演出 大河内直子
出演 須賀貴匡 / 宮崎秋人 / 辻一帆 / 青柳尊哉 / 池田努 / 若林時英 / 井上裕朗 / 青山達三 ほか
料金 【全席指定】一般:6,800円 / 学生:3,800円 / 高校生以下:2,800円
問合せ チケットぴあインフォメーション 0570-02-9111

1・2・3

JAN FEB MAR

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

Gallery 1 (5F)			
1	4日(土)～9日(木) 第69回書道学会展 【問合せ】 天田 03-3234-3956	11日(土)～13日(月・祝) 松風花道会 いけばな展 【問合せ】 松風花道会事務局 岩崎 03-5940-2918	16日(木)～19日(日) 静書会書道展 【問合せ】 高橋 03-3358-4786
	23日(木)～28日(火) Gallery 1・2同時開催 東京都特別支援学校 第28回総合文化祭 5部門作品展 【問合せ】 東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課 03-5321-1111	29日(水)～2月2日(日) 40周年記念 第4回 柳穂書道会展 【問合せ】 和田 03-3918-3059	
2	5日(水)～9日(日) Gallery 1・2同時開催 校外展 【問合せ】 江田 080-2784-2271	11日(火・祝) Gallery 1・2 シンフォニースペース ミーティングルーム リハーサルルーム同時開催 第16回 子どもたちと芸術家の出あう街 【料金】 有料(要事前申込) 【問合せ】 日本オーケストラ連盟 03-5610-7275	13日(木)～16日(日) 藤田久美子 パッチワークキルト教室作品展 【問合せ】 藤田 03-3379-0168
	20日(木)～23日(日・祝) Gallery 1・2同時開催 尚美学園大学 卒業制作展 【問合せ】 尚美学園大学 卒業2020実行委員会 049-246-2700	27日(木)～3月1日(日) Gallery 1・2同時開催 第19回都会の中で見つけた自然 押花芸術展 【問合せ】 ヲーク学園東京校内ちさと押花倶楽部 03-5282-3045	
3	6日(金)～8日(日) 第37回 日本芸術協会美術展 【問合せ】 早川 0463-32-1029	15日(日)～19日(木) 第33回 全国シルバー・わかば書道展 【問合せ】 菅原 03-3462-5251	21日(土)・22日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 第5回 池袋鉄道模型芸術祭 【料金】 500円(全施設共通・保護者同伴の 小学生以下は無料) 【問合せ】 日本鉄道模型の会 03-6914-3581
	26日(木)～29日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 福島一浩書展 【問合せ】 福島 03-3658-3376		

Gallery 2 (5F)			
1	11日(土)～15日(水) まなざしラジオ!! in 芸劇 【問合せ】 松山 03-5942-7259	17日(金)～19日(日) 第9回和様の書展／ 第2回クセ字コンテスト 【問合せ】 うどよし 080-8315-8980	23日(木)～28日(火) Gallery 1・2同時開催 東京都特別支援学校 第28回総合文化祭 5部門作品展 【問合せ】 東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課 03-5321-1111
	29日(水)～2月2日(日) 第39回 国際書道連盟役員展 【問合せ】 国際書道連盟 中川 090-9304-8243		
2	5日(水)～9日(日) Gallery 1・2同時開催 校外展 【問合せ】 江田 080-2784-2271	11日(火・祝) Gallery 1・2 シンフォニースペース ミーティングルーム リハーサルルーム同時開催 第16回 子どもたちと芸術家の出あう街 【料金】 有料(要事前申込) 【問合せ】 日本オーケストラ連盟 03-5610-7275	20日(木)～23日(日・祝) Gallery 1・2同時開催 尚美学園大学 卒業制作展 【問合せ】 尚美学園大学 卒業2020実行委員会 049-246-2700
	27日(木)～3月1日(日) Gallery 1・2同時開催 第19回都会の中で見つけた自然 押花芸術展 【問合せ】 ヲーク学園東京校内ちさと押花倶楽部 03-5282-3045		
3	3日(火)～5日(木) 「3・207」 【問合せ】 多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科 03-3702-1127	6日(金)～8日(日) 第1回 Salon de KAGETORA 教室作品展 【問合せ】 和氣 042-505-8248	12日(木)～14日(土) 須藤修代クラス 作品展 【問合せ】 小滝 03-3399-5550
	23日(月)～24日(火) 日本教育大学協会全国書道教育部門 第1回書道教員による 鑑賞教材のための書作展 【問合せ】 加藤 080-5672-1168	26日(木)～29日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 福島一浩書展／併催 二松学舎大学 福島ゼミナール学外展／一浩七哲書展 【問合せ】 福島 03-3658-3376	15日(日)～19日(木) 呂建富・中国現代水墨画新作展 【問合せ】 菅原 03-3462-5251
		21日(土)・22日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 第5回 池袋鉄道模型芸術祭 【料金】 500円(全施設共通・保護者同伴の 小学生以下は無料) 【問合せ】 日本鉄道模型の会 03-6914-3581	

Atelier East (B1F)			
1	10日(金)～13日(月・祝) BOPSグループ写真展 「つながり」 【問合せ】 BOPS事務局 bops2017@googlegroups.com	15日(水)～19日(日) 陶芸教室ポティエ 生徒作品展覧会 【問合せ】 陶芸教室ポティエ 03-3989-6750	22日(水)～28日(火) 東京朝鮮中高級学校 美術部展 【問合せ】 崔 090-2940-9491
	30日(木)～2月2日(日) バリアフリー着物・ 帯作品展 【問合せ】 鈴木 090-3691-0055		
2	5日(水)～10日(月) 畠田心珠書展 一ないものねだりー 【問合せ】 畠田 03-6874-7724	12日(水)～16日(日) 卒展 【問合せ】 藤村 090-2294-4741	18日(火)～23日(日・祝) モヨラー写真展 「光・色・いろ」 【問合せ】 川畑 049-225-7542
	25日(火)～3月1日(日) 法政大学カメラ部 93期「卒展」 【問合せ】 坂本 080-9988-0269		
3	3日(火)～8日(日) 早稲田国際ビジネスカレッジ テキスタイル学科作品展 【問合せ】 春日 03-5155-3939	11日(水)～14日(土) 第10回 雑司が谷デジカメクラブ作品展 【問合せ】 上條 03-3918-3282	15日(日)～19日(木) 卒展 【問合せ】 渡邊 080-9400-9470
	21日(土)・22日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 第5回 池袋鉄道模型芸術祭 【料金】 500円(全施設共通・保護者同伴の 小学生以下は無料) 【問合せ】 日本鉄道模型の会 03-6914-3581	26日(木)～29日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 福島一浩書展／併催 教育部展 【問合せ】 福島 03-3658-3376	

Atelier West (B1F)			
1	5日(日)～9日(木) キセキ 【問合せ】 多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科 03-3702-1186	11日(土)～29日(水) フィルハーモニア管弦楽団 VRサウンド・ステージ Tokyo 【問合せ】 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	5日(水)～10日(月) 誰斎書展 【問合せ】 長谷川 090-4870-8868
	24日(月・休)～3月1日(日) 第8回「銅の会」 銅版画展 【問合せ】 平嶋 048-262-8315	11日(火・祝)～16日(日) 東京地下鉄親交会写真部展 「My写真館15」 【問合せ】 内村 080-5536-4205	20日(木)～23日(日・祝) 桐美展 【問合せ】 柿本 080-3730-3670
3	2日(月)～8日(日) 武蔵野学芸専門学校 卒業制作展2020 【問合せ】 古屋 0422-50-1177	12日(木)～14日(土) 古流いけばな作品展 【問合せ】 栗原 03-5998-6474	15日(日)～19日(木) 第11回 「保谷フォトクラブ」写真展 【問合せ】 保谷フォトクラブ事務局 伊東カメラ店 関谷 03-5387-1041
	21日(土)・22日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 第5回 池袋鉄道模型芸術祭 【料金】 500円(全施設共通・保護者同伴の 小学生以下は無料) 【問合せ】 日本鉄道模型の会 03-6914-3581	26日(木)～29日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 福島一浩書展／併催 教育部展 【問合せ】 福島 03-3658-3376	

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)

まなざしラジオ!! in 芸劇

無 料

1月11日(土)～15日(水) 10:00～19:00 ギャラリー2(11日(土)、13日(月・祝))はトークイベントをシンフォニースペースにて開催) 詳細はP15へ



障害のある人の「表現」と寄り添う人の「まなざし」を集めたラジオ形式の展示とトークを開催!

南関東・甲信エリアで活動する、障害のある作り手の「日常」とその人たちによる「表現」、また創作に寄り添う支援者の「まなざし」に焦点をあてた展示とトークを開催します。彼ら彼女らの表現は、生活環境と密接に結びついているゆえに、時として展示という形式のみではその魅力を伝えきれません。よって創作にまつわる記録写真の展示、さらには支援者たちが語った言葉を「ラジオ」という形式でお届けします。この5日間限定のイベントを通じて、何気ない日常のなかに息づく表現の可能性を、ぜひ発見してください。

トークイベントゲスト:細馬宏通(人間行動学者)、鈴木励磁(カブカブ所長)、アサダワタル(本企画ディレクター) ほか
【お問合せ】東京アール・ブリュットサポートセンターRights(愛成会)担当:松山 03-5942-7259 <https://rights-tokyo.com/>

第16回 子どもたちと芸術家の出あう街「アートで話そう!」

2月11日(火・祝) コンサートホール、ギャラリー、ミーティングルーム、リハーサルルーム

詳細はP11・15へ



いろんなアートで気持ちを表現してみよう

今回のテーマは「アートで話そう!」。コンサートホールでの新日本フィルハーモニー交響楽団によるオーケストラ演奏会では、チャイコフスキーやリムスキー＝コルサコフ、ビゼーなどの名曲のほか、米津玄師「パプリカ」やディズニー音楽「美女と野獣」など、お子さまと楽しめるプログラムをお届けします。また、ギャラリーやミーティングルーム、リハーサルルームでは、楽器演奏、雅楽、バレエ、書道、カリグラフィー、パペットづくりなどさまざまな芸術体験ができるワークショップ(事前申込制)を開催。当日気軽に楽しめるミニライブ、フェイスペイントや人形劇などのイベントも盛りだくさん!東京芸術劇場が音楽とアートであふれる一日、ぜひご家族でお出かけください。

【お問合せ】新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815 www.njp.or.jp/kogei2020

東京芸術劇場バックステージツアーVol.12「コンサートホール編」

2月24日(月・休) 14:00～16:00 コンサートホール

詳細はP12へ



憧れの演奏家が見る景色を親子で体験してみませんか?

世界最大級のパイプオルガンを誇る東京芸術劇場のコンサートホール。その美しい音色を生み出すホールの裏側にはどんな世界が広がっているのか、そっと覗いてみませんか?マエストロやソリストが本番までの緊張感あふれる時間を過ごす楽屋や、世界で唯一の回転する二面式オルガンを間近で見られるまたとないチャンスです!普段の公演では絶対に見ることのできないバックステージの秘密を探検しながら、舞台から見える景色と響きを親子で一緒に楽しみみてください。

【対象】小学生(必ず保護者同伴) 【料金】小学生:無料/保護者:1,000円(要事前申込)

【お問合せ】東京芸術劇場 教育普及担当 03-5391-2116

芸劇+まちがく

3月4日(水)18:30開演 アル・テアトロ(2F)

詳細はHPへ



【料金】3,000 円(学生2,000円) 食事付

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

第5回 池袋鉄道模型芸術祭

3月21日(土)・22日(日) ギャラリー1・2/アトリエイスト・ウエスト

詳細はP15へ



鉄道と共に歴史を刻む街「池袋」を舞台とする鉄道イベント「池袋鉄道模型芸術祭」が、今年度も開催されます。作り込まれた精緻なジオラマや細密な鉄道模型、つながしい玩具の汽車などが、昭和レトロのノスタルジーな世界を再現します。鉄道模型の魅力からあふれ出る、鉄道のロマンと楽しさに触れるひと時をお過ごしください。

【お問合せ】日本鉄道模型の会 03-6914-3581

野田秀樹

チョウ・ユエン

台湾は、残りの人生で頻繁に訪ねたい場所のひとつです

野田秀樹

共同制作ができるのを
楽しみにしています

チョウ・ユエン

国家規模のバックアップと、人々の関心で、
舞台芸術のプレゼンスが急速に高まっている台湾。
3つある国立劇場のうちのひとつ、台中国家歌劇院の
芸術監督であるチョウ・ユエンさんが来日し、
NODA・MAP『Q』を観劇した。かねてから野田作品に
大きな関心を寄せていたチョウさんと
野田秀樹の対談が実現。非・英語圏の演劇、
公共劇場の役割など、同じ芸術監督の立場から話は弾んだ。

『Q』における演劇と音楽の関係

チョウ 昨日、『Q』を拝見しました。最初のうちは手元の字幕ガイド(英語のせりふが表示される小型モニター)と舞台を交互に観ていましたが、途中からは舞台だけに集中していました。『ロミオとジュリエット』が日本の平家と源氏の話になっていくという内容が自然に理解できて、字幕が必ずしも必要なくなったからです。素晴らしい経験でした。

野田 ありがとうございます。

チョウ ふだんは、オペラであれ演劇であれ、主観でポイントを引き出しながら観ますが、『Q』は、野田さんの目にリードされてさまざまな景色を観ているような気がしました。また私は、学生時代に音楽と演劇を学んだこともあり、音楽の使い方も興味深かったです。テンション高く始まって、何度か盛り上がりがあり、最後は俳優の演技も物語も静かに収束していく……。

野田 『Q』は、イギリスのロックバンド、クイーンの『オペラ座の夜』というアルバムを舞台化した作品でもあるので、その世界観をどう表現するか、いかに音楽を舞台に反映させるかは、かなり考えたところなんです。

チョウ よくわかります。ただBGMとしてかかっていたのではなく、エモーションをリードすることになります。香港にジョン・ウーという映画監督がいて、台湾では彼の作品は「暴力美学」と呼ばれています。迫真のアクションシーンの中に、急に(平和の象徴である)鳩のカットが出てきたりするからです。『ゴッドファーザー』もそういうところがありますよね。非常に緊迫したシーンや残酷なシーンで、とても美しい音楽が流れ、大きなギャップが作られます。『Q』にもその美学を感じました。戦争のシーンは事態が慌ただしく変化するのを表現しながらも、スローモーションによってひとつひとつの動きが明確になっていましたし、それらがクイーンの音楽で見事にひとつになりました。

野田 演劇と音楽の関係は、今回の芝居で非常に重要なポイントですが、もちろんこれまで演出の仕事をしてきた中で、常に考えてきた課題でもあります。それなりの歴史がありまして、若い時は音楽を多用して、ストーリーと同化させることで音楽に芝居が流されるというか、過剰に使っていた時期があったんです。

その意識が変わったのはイギリス留学——僕は'92年から1年間、ロンドンに滞在したんです——がきっかけでした。イギリスの演劇は、いわゆるストレートプレイで音楽をバックグラウンドとして流すのを非常に嫌う。おそらく、演劇は言葉であって音楽ではないという考え方で、そうした彼らの意識の高さに僕は影響を受けた。だから留学から帰ってきて15年近くは、音楽はなるべく抑制しようという意識が働いていました。それがオペラを演出したり、『エッグ』('12年初演)で椎名林檎さんと組んだり、歌手で俳優の美輪明宏さんの半生を描いた『MIWA』('13年)をつくったことで、音楽と改めて向き合う経験をしました。そうしてようやく新しい関係を結べるようになったと思います。

そのひとつが、チョウさんが指摘くださった異化効果的な使い方です。『Q』は、クイーンの曲の歌詞から立ち上げたシーンもありますから、言葉に沿っているところもあるけれど、音楽の使い方と言うと、シベリア抑留のシーン



撮影：種山紀彦

などは、曲調が非常に明るい『Sunday Afternoon』をあえて使いました。そうすることで、自分の芝居の中に音楽が戻ってきた感じがしています。

チョウ おっしゃるような演劇と音楽の関係があったから、日本語のせりふがわからない私も、作品を理解できたと興奮したんだと思います。

野田 音楽って、非常に危険なものになり得ますよね。ヒトラーがワーグナーの曲を使ったように、人々を煽るには最高の武器になり得る。音楽そのものが人間の情動と結び付きやすいし、優れている音楽ならなおさらです。そういう部分も演劇は利用できるけれども、演劇としてのクオリティは高くないのに、音楽の力で観客の気持ちをおある方向に持っていくこともできるわけです。

チョウ 『Q』では、作品を立体的にする役割を果たしていましたが、音楽が時に危険というのは、よく理解できます。

アジアの演劇が世界で戦うには

チョウ 作品の背景などについて、言葉の説明が要らない作品づくりから始めなければならぬのかもしれませんが、この点については、野田さんはすでに世界で実績を積まれています。『Q』のみならず、昨年拝見した『鷹作 櫻の森の満開の下』もそうでした。セリフは日本語に関わらず、すぐ作品の世界に入り込めて、言葉の壁を感じなくなりました。パフォーマンスに説得力があると思います。

野田 多くの芸術はまだまだ欧米中心で、特に言葉が主体の演劇は、どうしても英語を意識します。だからと言って、翻訳されやすいように書いたり、英語圏に受け入れられやすい芝居をつくり続けてしまうのは、これも非常に危険だと思います。先ほどの音楽の話もそうですけど、(アジア圏の自分達が)どのくらい欧米に寄り添わなくてはいけないのか。今回の作品のベースに『ロミオとジュリエット』を使っていますが、それによってあちら(欧米)がこっちに興味を持って、例えば日本には源氏と平家という対立があった、それはどこから来たのかといったことに目を向けるきっかけになるなら、入口として必要になります。

ただ、演劇なり芸術全般なりが、完全に英語中心になってしまったら、文化全体が廃れますよね。文化とは、さまざまな場所で生まれ、あちこちで育つからおもしろい。アジアだったらアジア各地に多種多様な文化があるから素晴らしいわけで、それを西洋側にすべて合わせたら、本来の文化とは完全に逆になります。ある文化が別の文化と出会ってまた新しい文化になる。だからこそ、何にどこまで寄り添うかは、しっかり考えるべきことかなと。

チョウ 同感です。台湾で制作した舞台を欧米に持って行こうとしたら、言葉への理解を筆頭に考えなくてはいけないことがたくさんあります。でもイタリアのオペラだって、イタリア語がわからなくても多くの人を感動させま



す。ストーリーも音楽を通して伝えられます。つまり、言葉は重要なひとつのメディアですが、それ以外にも私達はメディアを用意することはできる。衣裳もその動きをしますね。『Q』の源氏と平家の服装もそうでした。たくさん的人物がいても、ひと目で「あの人は平家側」だと理解でき、両家に対立していることがはっきり読み取れます。言葉は必要なものではありませんが、絶対に必要な要素とまでは言えないと思います。

台湾の公共劇場のミッション

野田 台湾には、チョウさんが芸術監督を務める台中国家歌劇院を含めて3つの国立劇場があるんですね。

チョウ はい、台北、高雄、台中にあり、成り立ちや規模がそれぞれ異なります。まず台湾の劇場の歴史からお話すると、1987年に台北に最初の専門的な劇場（国家两厅院）が出来る前は、クラシック音楽のコンサートなどは盛んでしたが——それには、植民地時代に日本人が台湾にクラシックを広めたという背景があります——、演劇の公演はそれほど行われてはいませんでした。また、国家两厅院が出来た当初は管理や運営が政府の直轄で、公務員的な感覚と言えいいでしょうか（笑）、そうしたものが芸術に制限をかけていると多くのアーティストが感じていました。当時の部長（いわゆる現在の芸術監督）やディレクターも公務員で、例えば学校の教師をしていた人達がそういうポストに就いていたんです。それが2014年、政府とは別に国家表演艺术中心（舞台芸術センター）という団体が組織され、北、中、南の三つの国立劇場はすべてその管轄になりました。これは日本の公共劇場の体制などを参考にしました。その改革で、今まで幹部であった公務員や元教師達が劇場から去り、アーティスト達が直接関われるようになったんです。

野田 公共劇場にいた公務員、つまりお役人さんということだと思いますけど、そういう人達は15年の段階ですべて入れ替わったんですか？

チョウ ほとんど入れ替わりました。もともと政府が劇場に送り込んでいたのは定年間近の人で、今までの幹部はたいてい2年から4年程で辞めていたんです。

野田 天下りの的なポストとして使われていたということですね。

チョウ そうです。その入れ替わりのタイミングで、民間を含め様々な分野から新しい人達を送り込むことが出来ました。幹部以外の人達は、ほかの文化施設に転職したり、早めに定年退職する人もいました。

野田 僕がこの芸術監督に就任したのは2009年で、それ以前のこの劇場は自主的なプログラムがほとんどない貸し施設の性格が強い場所で、芸術監督も存在していなかったんですね。で、最初の頃、会議で驚いたのが、進行がいわゆるお役所的だったんですよ。全員に配られている書類を、担当者が頭から全部読み上げ、それをみんなで聞く時間が延々と続く。それは手元の書類を見ればわかることだから、時間の無駄だと変えてもらったんですね、最初の数回は我慢したんですけど（笑）。今のチョウさんの話を聞いて、それを思い出しました。

チョウ どれも同じようなことが起きていたんですね（笑）。

野田 お役所的なやり方のすべてが悪いとは思いませんが、同じ時間を使うなら、やっぱり劇場でどういう作品をつくるのかといった内容を話したい。芸術は少しずつ変わってきていますが、日本全体で見るとまだまだ旧態依然としているところは少なくありません。台湾では一気に変えることができたのはすごいですね。それと先日、台北の国家两厅院に行ってきたんですが、要職を含め劇場で働いているのが圧倒的に女性が多くて驚きました。

チョウ 台北のほうは1987年開館で33年という歴史があり、台湾の中ではマーケティング的にも熟しています。ジェンダーやLGBTQ問題や近親相姦を扱った、挑戦的、挑発的な作品も多く上演されていて、観客も受け入れるようになっていきます。なので、台北の国家两厅院の大きなミッションは、台湾国内の優秀な作品やアーティストを海外に送ることで、海外の劇場との共同制作や海外のフェスティバルとの提携なども盛んです。高雄の国立劇場は衛武营国家芸術文化センターという名称で、2018年にオープンしたばかりです。オペラハウスを含めて4つ（野外劇場を加えると5つ）の劇場があり、合計の総席数は6,000席、屋内の劇場としては、世界最大の単一屋根でできた世界最大級の芸術センターと言われています。高雄は、工業の町と言われていた地域で、日本で言う能や歌舞伎のような伝統芸能は集中しているものの、市民の多くはお金を払って劇場に行く習慣はありませんでした。衛武營のミッションは、若い世代に劇場の意義や役割を理解してもらうことです。この芸術監督はもともと指揮者で、ドイツの有名なオペラハウスでも活躍していたので、台湾のアーティストとドイツのオペラハウスを繋いで共同制作することが現在の彼の目標になっています。私が芸術監督をしている台中は正式オープンから4年目ですが、現在の1番のミッションは観客の拡大です。もうひとつ、台中には演劇の専門学校がないこともあり、劇場が求める専門的な人材が少



台中国家歌劇院

©National Taichung Theater (Photographer_ LIN Chun-yung)

ないのです。ですから劇場の人材育成も急務になっています。台北も台中も高雄も人口は280万～290万人ですが、台北は劇場が4つあり、総席数は約4,000席、台中国家歌劇院は大・中・小と3つの劇場があり、総席数は約3,000席です。

野田 台中国立歌劇院の設計は伊東豊雄さんですね。以前、対談した際に自慢げに（笑）、写真を見せてもらいました。いや、真面目な話、劇場の中にも外にいる感覚が持てるような場所」という伊東さんのコンセプトが事実に反映された、素晴らしい劇場だと思いました。

チョウ ありがとうございます。本当に素敵な劇場なので、ぜひいらしてください。ここで私が努力しているのは、台中の人々に世界の質の高いアートをもっと知ってもらうことです。そのためにフェスティバルを季節ごとに開催していて、春はデジタルアート、あるいは新作戯曲など、最先端をテーマにしています。かつて台中は台湾の経済、文化の中心地であり、知識人や文学者が集中していました。現在は精密機械の輸出産業が発達しています。春のフェスティバルは、そうした台中の歴史や産業を反映させた意味合いと、伊東豊雄さんが設計してくれた“劇場らしからぬ建物”という特徴を活かし、新しいことをやってみようと思いました。そして夏休みににはファミリー向けのミュージカルや親子演劇シリーズ、秋には世界的に有名な演出家の名作を上演できるようにしています。去年上演したピーター・ブルックの『Why?』は、私達とパリのブッフエ・ドゥ・ノール劇場との共同制作でした。

野田 冬のフェスティバルはないんですか？

チョウ 実は台湾は、台中以南の地域には冬がないんです。もちろん、感覚として知っていますが、緯度的には春、夏、秋しかありません。

野田 それは初めて聞きました（笑）。個人的な話ですが、この前、『One Green Bottle』を持っていくことになっている台北に行った時に、見ず知らずの若い人に親切にしてもらいました。道に迷ってしまい、向こうから歩いてきたカップルに目的地への行き方を訪ねたら、来た道を20分も戻って案内してくれた。町並みも可愛らしくて、台湾にはとても良い印象を持っています。残りの人生で頻繁に訪ねたい場所のひとつになりました。僕もオペラを演出しますから、そういう作品も持っていけたらいいですね。

チョウ 台中国家歌劇院の芸術監督として、野田さんが作品を持ってきてくださるをお願いします。共同制作もぜひ計画したいですね。

野田 実現したら、僕を道案内してくれたふたりはぜひご招待したいですね（笑）。

取材・文：徳永京子
写真：岡本隆史

“One Green Bottle”「表に出ろいっ!」English version ワールドツアー第3弾

作・演出：野田秀樹 英語翻案：ウィル・シャーブ 出演：リロ・パウワー グリン・ブリチャード 野田秀樹

台湾・台北公演 2020年2月21日(金)～2月23日(日) 国家两厅院実験劇場 Experimental Theater

國家兩廳院(国家两厅院) National Theater & Concert Hall

台北市にある総合芸術文化施設。1987年開館。敷地内には、国家歌劇院と国家音楽庁の2棟と広大な広場を有し、劇場(1,526席)、実験劇場(179～242席)、図書館、コンサートホール(2,074席)、リサイタル・ホール(363席)などから成る複合芸術文化施設である。オペラ、バレエ、ミュージカル、演劇、管弦楽、室内楽、伝統音楽、京劇などの各種公演が開催されており、過去、日本からは、蜷川幸雄や宝塚歌劇団などが公演している。



アメリカ・ニューヨーク公演

2020年2月29日(土)～3月8日(日) La MaMa Experimental Theatre Club, Ellen Stewart Theatre



今回のアイタイヒト

邱瑗(チョウ・ユエン) JOYCE Y CHIOU

2018年6月より台中国家歌劇院芸術監督、2006-2018年 台湾フィルハーモニック(NSO国家交響楽団/aka.台湾愛楽) エグゼクティブ・ディレクター。米国イリノイ大学修士(演劇)、ノーザンイリノイ大学修士(音楽)。

臺中國家歌劇院(台中国家歌劇院) National Taichung Theater

台湾台中市西屯区に位置し、2014年発足の国家表演艺术中心(舞台芸術センター)の管轄下にある大型公共複合文化施設。2016年9月30日に正式オープン。日本の建築家伊東豊雄が設計したことでもしられ、大劇場(2,007席)、中劇場(794席)、小劇場(200席)の3つの劇場と野外劇場を有している。台湾では、国家表演艺术中心(舞台芸術センター)傘下に、「台中国家歌劇院」のほか、「国家两厅院(National Theater & Concert Hall)」、「台北」、「衛武营国家芸術文化センター(National Kaohsiung Center of the Arts)」、「高雄」の3つの劇場と付設団体の「国家交響楽団」(台湾フィルハーモニック)がある。3つの劇場は互いに連携し合い、「アート」「サポート」「ラーニング」を3館共通の構成理念とし、それぞれ国内外の最先端作品を上演し、プロフェッショナルなサポート体制で、芸術文化における教育活動を推進している。

<https://jp.npac-ntt.org/>

野田秀樹 HIDEKI NODA

劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。92年に「劇団 夢の遊眠社」を解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『逆鱗』『足跡姫』『眞作 桜の森の演舞の下』など話題作を次々と発表。モーツァルト歌劇『フィガロの結婚-庭師は見た!-』等、オペラの演出も手がける。2019年10月より、新作『Q: A Night At The Kabuki』を上演し大きな話題と高い評価を得る。さらに2015年よりブラジル、日本各地で、国内外の多種多様な表現者達と新たな幻想的な表現を創出する文化サーカス「東京キャラバン」の総監修を務め、「東京キャラバン in 北海道」でワークショップを行い創作したパフォーマンスを2020年1月に発表予定。2月には、海外の俳優やスタッフと共同制作され、2017年のワールドツアーでも大きな反響を呼んだ、英語劇『One Green Bottle』の、台湾、ニューヨーク公演が控えているなど、世界を駆け巡り、意欲的に活動を展開している。

劉怡汝(リウ・イールー) Liu Yi-Ruu

国家两厅院芸術監督からのメッセージ

「野田秀樹さんの作品『One Green Bottle』を台湾国際芸術節にご招待できることを大変光栄に思います。2019年12月1日に発売を開始すると、4公演分のチケットはたったの1時間半で完売となりました。この事実からも、台湾の観客が野田秀樹さんをどれだけ待ち望んでいたかがお分かりいただけると思います。台湾での上演、そしてこれからの未来へと関係が発展していくことを切に願っています」



<http://lamama.org/>

東京芸術祭2019 フォトレビュー

国内外の多彩な舞台芸術作品が上演された「東京芸術祭2019」。その中から、東京芸術劇場で行われたプログラムの一部を舞台写真と共にあらためて振り返ります。

Photo Review

10/17・20
シアターイースト

オランダ／Netherlands



芸術オータムセレクション 「BLIND ブラインド」

原案コンセプト: デューダ・パイヴァ / ナンシー・ブラック
演出: ナンシー・ブラック

4公演

Photo: bozzo

10/18・20
プレイハウス

ロシア／Russia



芸術オータムセレクション レッドトーチ・シアター「三人姉妹」ロシア手話上演

作: アントン・チェーホフ
演出: ティモフェイ・クリャービン

3公演

Photo: Atsushi Goto

10/24・26
プレイハウス

ドイツ／Germany



ベルリン・シャウビューネ劇場「暴力の歴史」

原作: エドゥアルド・ルイ
演出: トーマス・オスターマイヤー

3公演

Photo: Nobuhiko Hikiji

10/25・27
シアターイースト

ラオス／Laos



フェスティバル/トーキョー19 ファンラオ・ダンスカンパニー「Bamboo Talk バンブートーク」

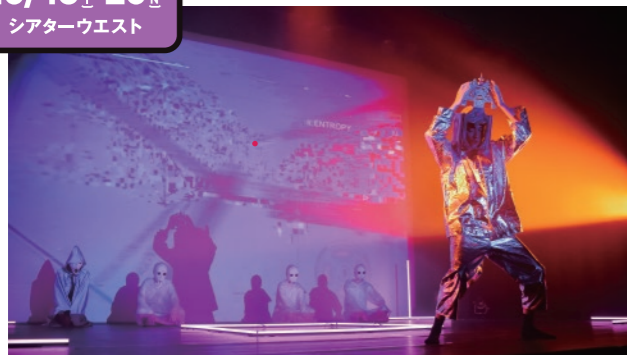
振付: ウンラー・パーウドム

3公演

Photo: Alloposidae

10/18・20
シアターウエスト

中国／China



フェスティバル/トーキョー19 香料SPICE「新丛林 ニュー・ジャングル」

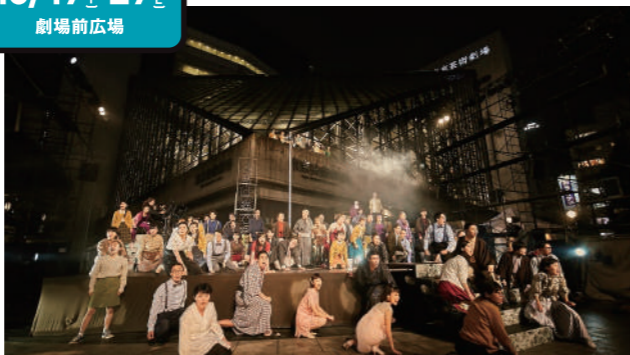
コンセプト・演出・出演: 香料SPICE

3公演

Photo: Manaho Kaneko

10/19
劇場前広場

日本／Japan



野外劇「吾輩は猫である」

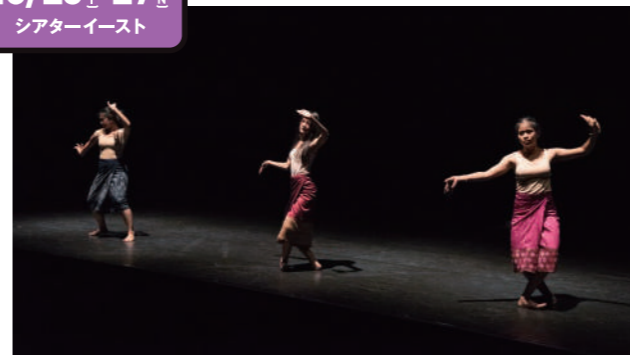
原作: 夏目漱石
脚本・演出: ノゾエ征爾

9公演

Photo: Magu Sumita

10/25・27
シアターイースト

ラオス／Laos



フェスティバル/トーキョー19 ファンラオ・ダンスカンパニー「PhuYing プニン」

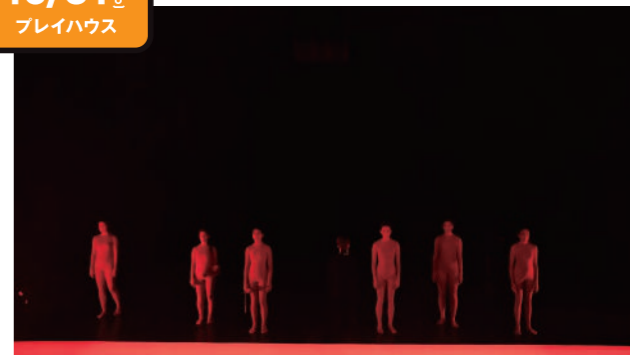
振付: ヌーナファ・ソイダラ

3公演

Photo: Alloposidae

10/31
プレイハウス

オーストラリア／Australia



ワールドコンペティション2019 受賞作品 最優秀スタッフ賞 (音響デザイン) シドニー・チェンバー・オペラ「ハウリング・ガールズ」

演出: アデナ・ジェイコブス
音響デザイン: ポプ・スコット

2公演

Photo: Nobuhiko Hikiji

11/2
シアターイースト

中国／China



ワールドコンペティション2019 受賞作品 最優秀作品賞 「紫気東来ービッグ・ナッシング」

演出・出演: 戴陳連 (ダイ・チェンリエン)

2公演

Photo: Shunsuke Watabe

11/2
シアターウエスト

チリ／Chile



ワールドコンペティション2019 受賞作品 最優秀パフォーマンス賞 批評家賞 観客賞 ボノボ「汝、愛せよ」

作: パブロ・マンジ
演出: アンドレイナ・オリバリ / パブロ・マンジ

2公演

Photo: Maiko Miyagawa

INFORMATION

鑑賞サポート 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス、ボディソニック (対象日限定・無料・要事前申込) 等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

1~3月
対象公演

東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.136、137
東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.30
カノン

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

開館 30周年

東京芸術劇場は、1990年10月に開館し、2020年に30周年を迎えます。劇場では、2020年1月から2021年3月までの15か月間を“アニバーサリー期間”とし、様々な周年事業を展開していく予定です。